

神戸市が目指すべき SDGs 達成に向けた取り組み  
～未来の神戸市を担う次世代育成の視点から～  
報告書

令和元 年 11 月 28 日  
株式会社 T. I. E

## 目次

1	調査実施概要.....	1
1.1	調査内容及び調査対象.....	1
1.2	調査手法.....	1
1.3	調査スケジュール.....	1
2	地方自治体のSDGsを推進する手法としての「フューチャー・デザイン」の可能性.....	2
2.1	フューチャー・デザインとは.....	2
2.2	岩手県矢巾町のケース.....	2
2.3	未来に向けた政策づくりのアプローチモデルとしてのフューチャー・デザイン.....	5
3	SDGsの推進に寄与する次世代教育に関する動向.....	7
3.1	社会の変化に伴い、大きく変わる日本の教育と入試～進むSDGs人材の育成.....	7
3.2	これからの社会を生きる子どもたちに必要とされる教育のあり方.....	7
3.3	都市開発や地域活性とセットで計画される、これからの教育.....	8
4	21世紀（未来）型教育、世界標準（グローバル・スタンダード）教育への取り組み.....	8
4.1	工学院大学附属中学校・高等学校のビジョン取り組み.....	8
4.2	グローバル教育3.0とは.....	9
4.3	グローバル教育3.0に基づくカリキュラム.....	9
4.4	特徴的なカリキュラムや設備など.....	10
5	まちづくり×次世代教育の推進.....	10
5.1	さいたま市の概要.....	10
5.2	さいたま市のまちづくりビジョン、教育ビジョン構築の背景.....	11
5.3	さいたま市のまちづくりビジョンと、それに基づく教育ビジョン.....	12
5.4	シティセールスへの積極的な活用.....	13
5.5	さいたま市立大宮国際中等教育学校について.....	13
6	地域×未来×イノベーションの学びの場.....	17
6.1	専門職大学とは.....	17
6.2	学校法人電子学園 情報経営イノベーション専門職大学について.....	17
6.3	中村 伊知哉 氏の考える“地域×未来×イノベーションの学びの場”とは.....	20
7	まとめ.....	20
7.1	まとめ：神戸市が目指すべきSDGs達成に向けた取り組み～未来の神戸市を担う次世代育成の視点から～.....	20
7.2	調査報告会での討議内容.....	21
	参考資料1：報告会 発表資料.....	24

## 1 調査実施概要

### 1.1 調査目的

世界的な流れとなっている SDGs の達成に向け、神戸市としてどのように取り組んでいくべきか、その一つの鍵が、未来を担っていく次世代教育にあると考える。

本調査はこのような視点から、最新の次世代教育を展開する教育機関と、まちづくり戦略と次世代教育を色濃くリンクさせている自治体の展開等について調査することで、未来の神戸市を担う次世代育成の視点から、神戸市が目指すべき SDGs 達成に向けた取り組みを検討するための材料を提供するものである。

### 1.2 調査内容及び調査対象

- ① はじめに～地方自治体の SDGs を推進する手法としての「フューチャー・デザイン」の可能性

調査対象：西條辰義 氏（総合地球環境学研究所特任教授（プログラムディレクター）、高知工科大学マネジメント学部教授、フューチャー・デザイン研究所 所長、東京財団政策研究所 上席研究員）

- ② SDGs の推進に寄与する次世代教育に関する動向

調査対象：山下一 氏（株式会社首都圏中学模試センター代表取締役社長）

- ③ 21 世紀（未来）型教育、世界標準（グローバル・スタンダード）教育への取り組み

調査対象：平方邦行 氏（工学院大学付属中学校・高等学校 校長）

- ④ まちづくり×次世代教育の推進

調査対象：竹内孝央 氏（さいたま市教育委員会事務局 管理部 教育政策室 課長補佐）、田方靖高 氏（さいたま市教育委員会事務局 管理部 教育政策室 主査）、根岸君和 氏（さいたま市立大宮国際中等教育学校 副校長）

- ⑤ 地域×未来×イノベーションの学びの場

調査対象：中村伊知哉 氏（学校法人電子学園 情報経営イノベーション専門職大学 学長）

- ⑥ まとめ

### 1.3 調査手法

ヒアリング調査及びデスクリサーチ

### 1.4 調査スケジュール

- 令和2年1月：デスクリサーチ
- 令和2年2～3月：ヒアリング調査

- 令和2年3月：報告書作成

## 2 地方自治体のSDGsを推進する手法としての「フューチャー・デザイン」の可能性

### 2.1 フューチャー・デザインとは

# ヒトの〈将来可能性〉を生む 社会の仕組みのデザインとその実践

## ||

# 未来に向けた政策づくりのアプローチモデル

・将来世代に持続可能な自然環境と人間社会を引き継いでいくために、  
どのような社会の仕組みをデザインし、実践すればよいのだろうか。

**将来可能性**：現在の利得が減るとしても、これが将来世代を豊かにするのなら、この意思決定・行動、さらにはそのように考えることそのものがヒトをより幸福にするという性質。



ヒトの〈将来可能性〉を生む社会の仕組みのデザインとその実践 = **Future Design**

### 2.2 岩手県矢巾町のケース

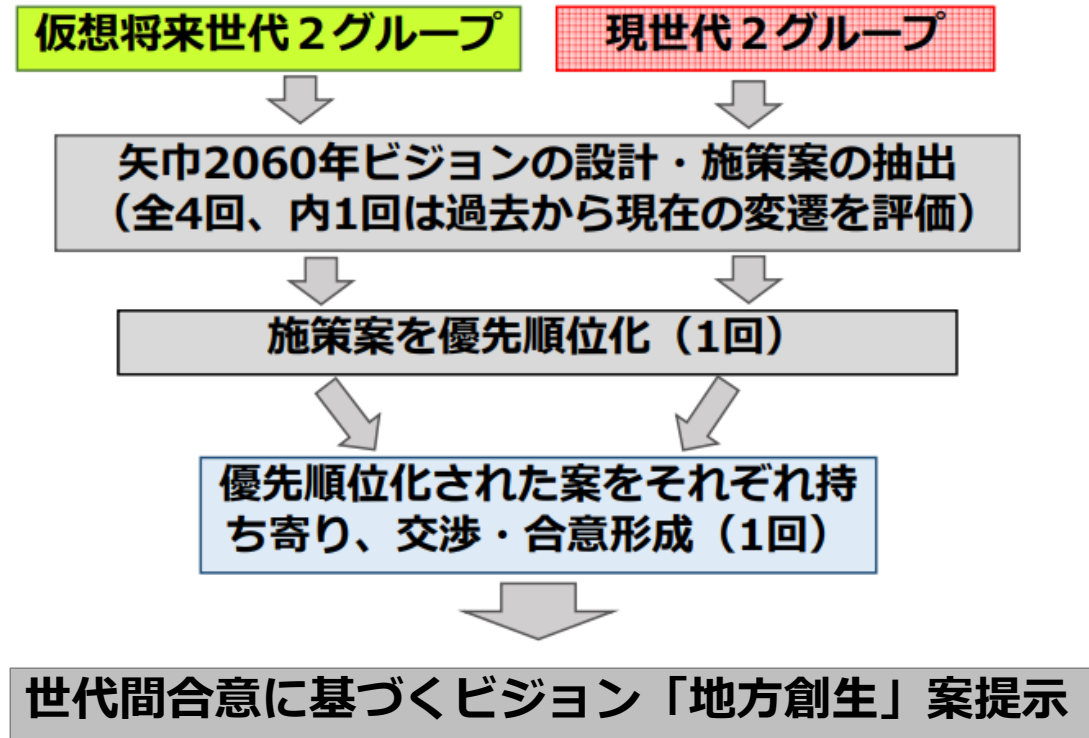
(社会の仕組みを変革する一つの手法である、仮想将来世代について)

- 2008年から水道行政の方針について話し合う市民ワークショップを定期的に実施。水道事業における最も先進的な取り組みとなる。
- その後も検討を重ね、2018年に高橋町長が施政方針演説の中で「フューチャー・デザイン町宣言」を行い、後に「未来戦略室」を設置、総合計画をフューチャー・デザインで計画する。市区町村でのテレワーク導入率は、2.0～8.6%。導入率が低い背景には、地方自治体職員の業務にテレワークに適したものがないと思われることや、職員がテレワークをする上で必要なセキュリティの確保等に地方自治体が課題を感じていることがあると考えられる。

・岩手県矢巾町の討議実践:2060年の将来プラン作成.



矢巾町フューチャーデザイン討議 (2015-6)



## 現世代は将来ではなく現代に軸足

- ・ **現世代のグループは「今」の問題を「将来」の課題**：現世代は，将来を現在の延長として捉え，現在生じている問題・課題の解決を念頭にビジョンを設定し，現在の状況・制約の中でアイデアを提出。
- ・ **今の生活を改善**するのが主眼（「待機児童の解消」や「老人介護施設の増加」）
- ・ **既存の施設・枠組みの改善**。
- ・ **現世代に負担がかからない施策**。
- ・ **短期的に効果のある施策**。
- ・ **他の地域との比較**。
- ・ **既存の仕組みや制度を与件**。



## 仮想将来世代は独創的

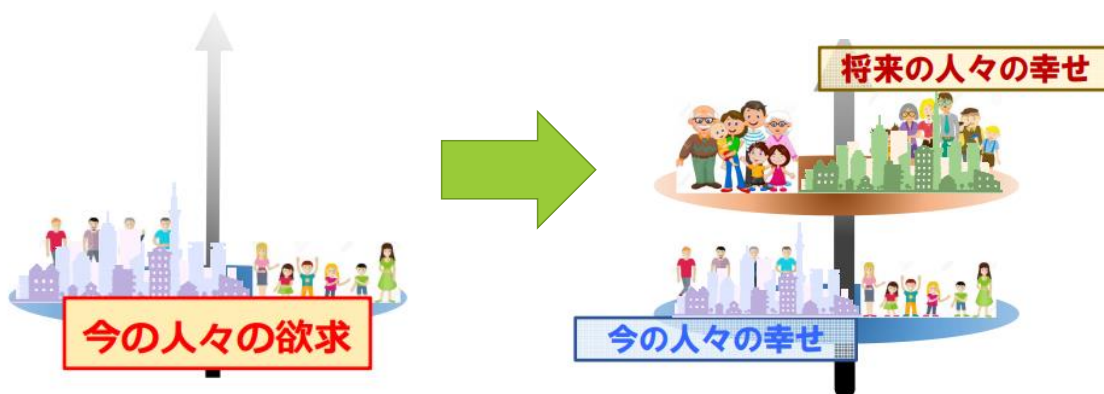
- ・ <複雑で時間がかかる課題ほど解決の優先度を高め，自由に将来を描き，地域のメリットや資源に着目し，それを継続的に活用することを考察>
- ・ **将来の矢巾の人々の豊かな生活を担保・構築することが真の目的**。将来の人々の生活の有り様や生き方，価値観そのものに対する思いが議論の起点。
- ・ **目的の実現のための施策・ビジョンを個別ではなく，それらがつながっていてストーリーを展開**。
- ・ **目的の達成のため，既存の仕組みなどを変更可能なもの**。
- ・ **将来起こるであろう技術革新を積極的に取り込む柔軟な姿勢**。
- ・ **都市化や高齢化などに沿って新たな政策を考察**。
- ・ **現在の課題を認識した上で，その延長ではない新たなビジョンを提起**。



2.3 未来に向けた政策づくりのアプローチモデルとしてのフューチャー・デザイン

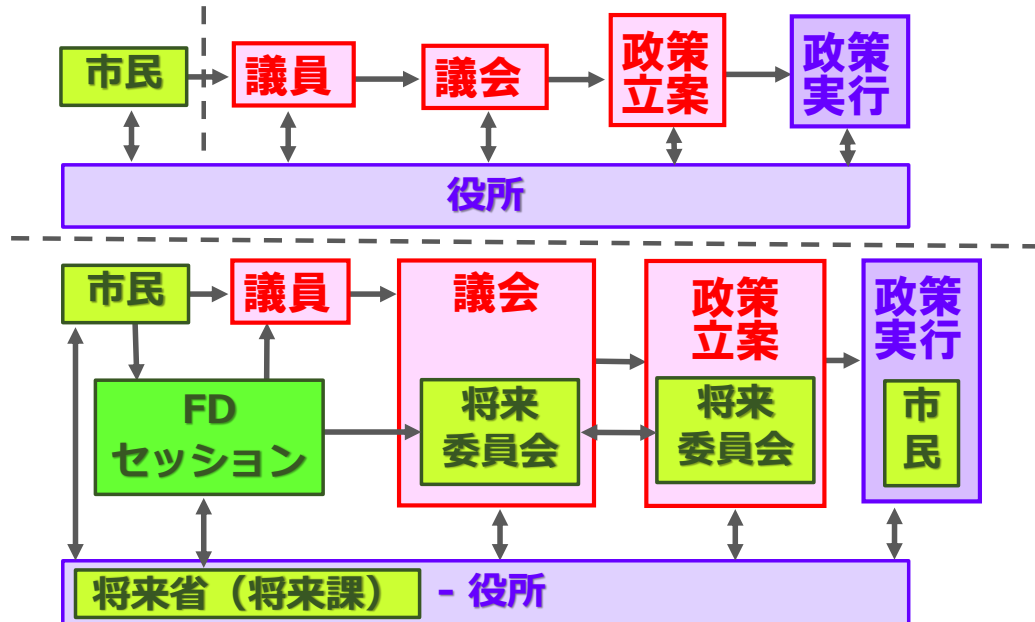
従来の政策デザイン

フューチャー・デザイン



- ・ 地方議会に**将来議員**を
- ・ 参議院を**将来議院**に
- ・ G7やG20の**世界の首脳たちの討議**に
- ・ **国際連合の意思決定の場**に
  
- ・ **企業**の意思決定者や**社員**の皆さんに
- ・ 社会的・工学的**イノベーション**の方向をさぐるために
  
- ・ 「**欲求充足型**」の医療から「**不安除去型 (FD型)**」の医療へ (本庶教授)
- ・ **教育の現場**に
- ...

## 間接民主制からFD民主制へ



皆さんも  
Future Design 研究  
をしませんか？



- 「フューチャー・デザインの手法が神戸市においても有効であると考えられる」
- 「フューチャー・デザインは、市民と一緒にまずは展開してみないとわからないので、実証実験的を実施してはどうか」

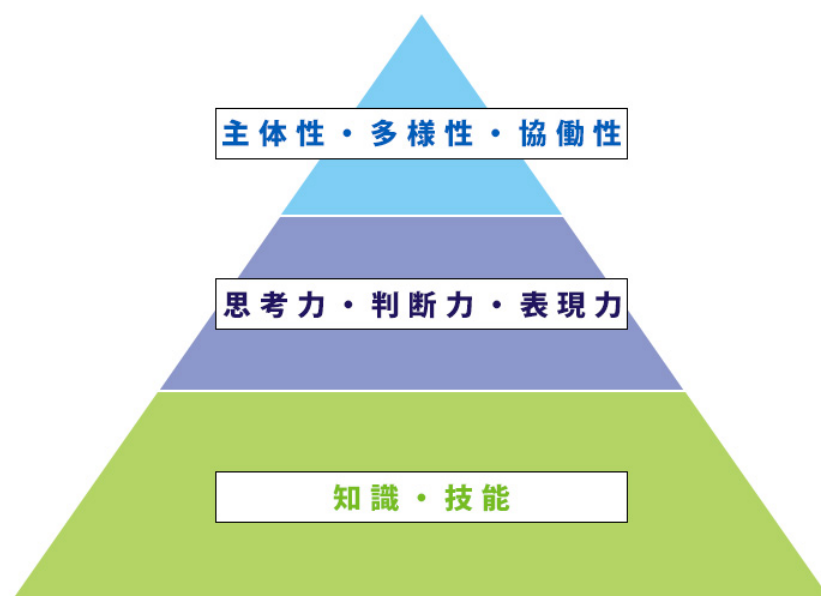


### 3 SDGsの推進に寄与する次世代教育に関する動向

#### 3.1 社会の変化に伴い、大きく変わる日本の教育と入試～進むSDGs人材の育成

- 知識中心型から、課題発見・解決型、創造的思考型へと、必要とされる教育内容が変わっている中、2020年度大学入試改革（高大接続改革）の中では、新たな評価軸として、「主体性・多様性・協調性」が加えられた。
- 「主体性・多様性・協調性」の育成においては、まさにSDGsがテーマとなってくるため、私学を中心に多くの学校がSDGsを扱うようになってきている。

## 学力の3要素



#### 3.2 これからの社会を生きる子どもたちに必要とされる教育のあり方

- これからの社会を生きる子どもたちに求められることは、「自ら学ぶ力」、「自ら問題を発見し、考え、解決に向けて行動していくために、(生涯にわたって)学び続ける力」を育てることである。
- それを実現するものとして、「21世紀(未来)型教育」、「世界標準(グローバル・スタンダード)教育」が注目されるようになっている。
- 「21世紀(未来)型教育」手法

- アクティブラーニング、PBL（プロジェクトベースドラーニング）、PIL（ピアインストラクションレクチャー）型授業、双方向型・対話型授業、CT教育
- 「世界標準（グローバル・スタンダード）教育」プログラム  
IB（国際バカロレア）プログラム、ダブルディプロマ・プログラム

→先進的な取り組みとして、工学院大学附属中学校・高等学校

### 3.3 都市開発や地域活性とセットで計画される、これからの教育

- 「先進的な自治体は、首長が都市開発と教育を一体化して考えている。次の経済発展のための手法の一つとして教育をとらえている。」

→先進的な取り組みとして、さいたま市（教育委員会）、さいたま市立大宮国際中等教育学校

- 「未来の学校として、全学生を在学中に起業させ、その利益で大学を無料化するといった先進的な取り組みもある。墨田区で、下町の経済発展とセットで考えられている。」

→先進的な取り組みとして、学校法人電子学園 情報経営イノベーション専門職大学

## 4 21世紀（未来）型教育、世界標準（グローバル・スタンダード）教育への取り組み

### 4.1 工学院大学附属中学校・高等学校のビジョン取り組み

- 世界が変わっていく中、教育だけ変わらないのはおかしいという考えから、「21世紀型教育＝グローバル教育 3.0」というコンセプトのもと、講座中心ではない、アウトプット中心型の教育を行う。
- もともとは公立中学校の先生であったが、公立学校では理想とする教育を行うことができないと感じ、ミッションスクールに転職。海外視察の際に、教育におけるアートやクリエイティブの重視、ピアインストラクション手法などを知り、これからは、PBL中心に行っていかなないと、「知識や過去の経験だけで未来社会の課題を解決することはできない」と考えるようになる。今後の教育の

場においては、創造性、クリエイティビティが重要であると考える。

- これらは、校長のトップダウンでないと実現できないと考えていたところ、立て直しを検討していた同校から声がかかり、学校改革に取り組んだ。
- 市との連携を図ることなく、独自の取り組みとして進めている（教育委員会の規制に対するネガティブな見解がある。）

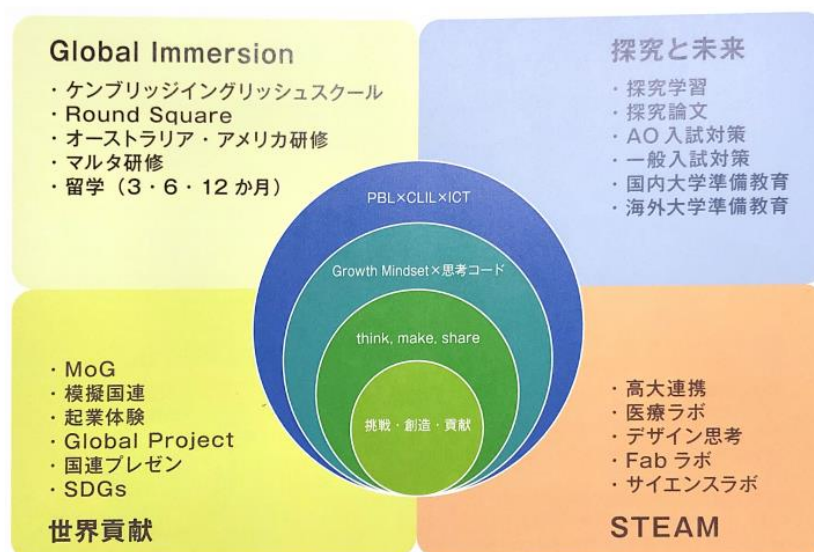
#### 4.2 グローバル教育 3.0 とは

革新的な技術を「使う」だけでなく、「作る」、あるいは「活かす」ことで、社会に貢献する人になる。そのために、世界に学び、世界と学ぶ。そのベースとなる国際的なコミュニケーションを身につけるための教育コンセプト。

	GE1.0	GE2.0	GE3.0
CEFR	A2	B2	C1
Learning	Lecture	Active Learning	PBL×STEAM
Global Network	語学研修	留学	Global Immersion
Web	Web1.0	Web2.0	Web3.0
思考力	知識・理解	応用・論理	批判・創造
大学入試	センター試験	入学共通試験	グローバル高大接続試験

#### 4.3 グローバル教育 3.0 に基づくカリキュラム

グローバル教育 3.0 のコンセプトに基づき、Glocal Immersion、探求と未来、世界貢献、STEAM の 4 つの柱でカリキュラムを展開

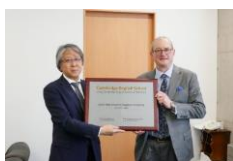


#### 4.4 特徴的なカリキュラムや設備など

#### SDGs人材の育成

##### 日本初のCambridge Englishスクール

ケンブリッジ大学出版発行の教材を採用し、英語学習の成果をケンブリッジ英語検定で測定する z z z 学校のうち、学校全体で英語力向上に取り組むことに関し、3カ年計画のコミットメントを約束した学校を対象とするスキーム。



##### Asian Student Leadership Conference

ASEAN諸国の若者が社会を変えるチェンジメーカーになれるよう支援する団体・Youth Ambassadorsが主催するプログラムへの参加。2019年の参加者は約300名、日本からの参加は同校のみ。



##### 図書館へのFabスペースの設置

プログラミング講座やワークショップを定期開催し、3Dプリンターやプログラミングなど、デジタルテクノロジーを駆使したものづくりを通して、生徒たちの「自ら学ぶ力」を育む。



##### MoG (Mission on the Ground)

アジア新興諸国をはじめ世界各地で社会事業家の方が抱えている経営課題の解決に挑む実践型の教育プロジェクト。例として、インドネシアのチザロバ村を対象とした、現地の社会起業家と共に、村のごみ問題を解決させるプロジェクトなどがある。



### 5 まちづくり×次世代教育の推進

#### 5.1 さいたま市の概要

- 埼玉県の南東部に位置する県庁所在地。
- 平成13年5月に旧浦和・大宮・与野の3市合併により誕生し、平成15年

4月1日には全国で13番目の政令指定都市へと移行、さらに、平成17年4月1日の旧岩槻市との合併を経て、関東圏域を牽引する中核都市として、さらなる発展を目指している。

- 令和2年3月1日現在市内の人口・世帯人口総数：1,315,107人（世帯数：603,150世帯）最近30年、一貫して増加傾向にある。



## さいたま市人口130万人突破 背景に子育て世代の高評価

2018.9.21 07:07



さいたま市の清水勇人市長は20日の定例記者会見で、市の人口が130万人を突破したと発表した。清水市長は「市民がそれぞれの立場で地域づくりに関わり、魅力ある市として市内外から受け止められている結果だ」と述べた。平成13年に旧浦和、大宮、与野の3市による合併で「さいたま市」が誕生して以来、人口増が続き、現在までに約27万人増えたことになる。



市によると、18日現在の人口は130万40人で全国9位。市誕生以来、出生数から死亡数を差し引いた自然増減、転入者数から転出者数を差し引いた社会増減のいずれも増加が続いている。平成25年以降は転入者の約6割が20～30代となっている。



① 住みよさランキング (2018年)	東洋経済新報社	政令指定都市中 1位
② 住みたい街ランキング (2018年)	リクルート住まい カンパニー	大宮 9位 浦和 10位
③ 幸福度ランキング (2018年)	東洋経済新報社	政令指定都市中 2位
④ 市民意識調査 (平成30年度)	さいたま市	住みやすい 84.2% 住み続けたい 86.1%

### 5.2 さいたま市のまちづくりビジョン、教育ビジョン構築の背景

- 「新しいまちづくり、新しい教育」が、市長の選挙のマニフェストの一つであった。

- 少子化、高齢化を受け、教育に重点を置くというのが市の政策としてあった。子育て世代が増えてきており、さらにこれを伸ばすためには教育が必要であろうと考え、市の重要な施策として位置付けている。都内の私立に行くのではなくて、地元で育てようという市の思いがある。
- さいたま市は「SDGS 未来都市」の認定を受け、柱の一つに「教育（教育・文化）」を掲げている。
- まちづくりにおいて教育を柱としていく際に注力する施策として、市立大宮西高等学校を市立大宮国際中等教育学校に改編し、グローバル化先進校としての取り組みをさらに充実・発展させるとともに、国際バカロレア認定の実現を目指す。

### 5.3 さいたま市のまちづくりビジョンと、それに基づく教育ビジョン

- 総合振興計画「2020 さいたま希望のまちプラン」の中に「きめ細やかで質の高い教育の推進」を位置づけ、具体的な事業としては、「市立高等学校『特色ある学校づくり』事業」、「グローバル人材を育成する中等教育学校の整備」を設定。
- 「さいたま市教育アクションプラン」の中では、2030 年を見通した人間像として、グリット、グローバル、グロウスの3Gを位置づけ、「2020 さいたま希望のまちプラン」の具体的な事業の中での実現を図る。

## 「未来を拓くさいたま教育」を推進する「PLAN THE NEXT 3つのGで日本一の教育都市へ」

### 第一のG：Grit(グリット)「やり抜く力で『真の学力』を育成すること」

やり抜く力とは、目的を達成するために継続的に粘り強く努力し、ものごとを最後までやり遂げる思考態度のことです。「真の学力」とは、知識・技能や思考力・判断力・表現力等の「認知能力」と、学びに向かう力やものごとをやり抜く力、自制心等の学びの下支えとなる「非認知能力」を合わせた学力のことです。



### 第二のG：Global(グローバル)「『国際社会で活躍できる力』を育成すること」

「国際社会で活躍できる力」とは、多様性を理解し、世界を舞台に挑戦する主体性と創造性、豊かな人間性を持ち、言語や文化で異なる人と外国語で意見を述べたり、交流したりするのに必要な思考態度のことです。

### 第三のG：Growth(グロウス)「一人ひとりの成長を支え、『生涯学び続ける力』を育成すること」

「生涯学び続ける力」とは、生涯にわたって、計画し、探求し、行動し、そして、振り返るといった連続性のある主体的・創造的な学びを通して、自己の能力を高め、成長につなげる思考態度のことです。

#### 0202 グローバル人材を育成する中等教育学校の整備

Grit

Global

グローバル人材を育成するために、市立大宮西高等学校を市立大宮国際中等教育学校に改編し、グローバル化先進校としての取組をさらに充実・発展させるとともに、国際バカロレア認定を実現します。

目標指標	① 市立大宮西高等学校の中等教育学校への改編に向けた校舎整備 ② MYP 認定 (国際バカロレア機構提供の中学1年生～高校1年生相当の生徒を対象としたプログラム) ③ DP 認定 (国際バカロレア機構提供の高校2年生～3年生相当の生徒を対象としたプログラム)
------	---

#### 5.4 シティセールスへの積極的な活用

- さいたま市は、0～14歳の転入超過が全国一位であり、マンション建設も進んでいるため、子育て世代が増えてきている。さらにこれを伸ばすために、シティセールスの柱として「教育の充実」を積極的にPRしている。

やりめく力で「真の学力」を育成する

## さいたま市の学校教育

全国トップクラスの学力がスゴい!  
平成31年度(令和元年度)全国学力・学習状況調査

教科	さいたま市	全国	埼玉県	大都市
国語	67(+3.2)	63.8	64	63.9
算数	69(+2.4)	66.6	65	67.9

本年度初実施の中学校英語では全国平均を大きく上回る結果に!

教科	さいたま市	全国	埼玉県	大都市
国語	76(+3.2)	72.8	72	73.1
数学	63(+3.2)	59.8	58	60.5
英語	62(+6.0)	56.0	55	57.6

さいたま市の学力はなぜ高い?

- 市独自の学習状況調査の実施** 全市立小・中・中等教育・特別支援学校の児童生徒を対象とした市独自の「さいたま市学習状況調査」を年1回実施し、教育指導の充実や学習状況の改善などに役立てています。
- 授業力向上のための学校訪問** 年に1回、全ての小・中学校教員の授業を教育委員会の職員等が参観して、授業力向上のための指導や助言を行っています。
- 非認知能力の育成** 知識・技能や思考力・判断力・表現力等に加えて、学びに向かう力やものごとをやり抜く力など、学びの下支えとなる「非認知能力」を育成する教育活動を実施しています。

学校が楽しい!～のびのび育つ子どもたち～

質問項目	さいたま市	全国	大都市
自分には、よいところがあると思う(自信はあまる)に比べて、自分で出来る)を他の児童	小6 89.9(+8.7)	81.2	81.5
	中3 85.8(+11.7)	74.1	74.7

日本一の英語力  
「グローバル・スタディ」がスゴい!

平成30年度に実施された「英語教育実施状況調査」(文部科学省)の結果が、国の目標である50%を大きく上回り日本一に！CEFRのA1レベル(中学校卒業段階での推奨値)に達した3年生の割合はなんと75.5%。全国平均より約30ポイント高い結果になりました。

- ★ 国に先駆けた本市独自の英語教育「グローバル・スタディ」の実施
- ★ 中学校全学年で英語力測定(GTEC及び英検JBA)を実施
- ★ 身に付けた英語を発揮する様々なイベントが充実

本格発動!  
「小学校プログラミング教育」がスゴい!

株式会社ベネッセコーポレーションと共同開発したプログラミング教材を使用した先行プレ授業の実施や、教員研修をスタート。令和2年度から始まる小学校でのプログラミング教育必修化に向けて、取り組みを強化しています。

学校で作る美味しい給食  
学校給食がスゴい! 一流シェフの手づくり給食!?

さいたま市では、全市立小・中・中等教育学校 市内のレストランやホテルなどで活躍中のシェフがさいたま市産や埼玉県産の地産産物を使用した給食献立を考えて、給食室で合わせた給食の提供などにより、子どもたちの食への関心を高めます。

PICK UP!  
埼玉県初の中等教育学校  
大宮国際中等教育学校2019年4月開校!

6年間を通して「生涯にわたって自ら学び続ける力」や「自分の力で考え抜き、新しい価値を生み出す力」など、国際的な視野に立って多様性を理解して探究し続ける「真の学力」を育んでいきます。また、国際バカロレアによる教育プログラム(MYP,DP)の導入に向け、様々な準備を進めています。

【所在地】  
〒330-0856 埼玉県さいたま市大宮区三輪4-9-6  
TEL:048-622-8200 Fax:048-622-8700  
E-mail: info-27@hs.city-saitama.ed.jp

#### 5.5 さいたま市立大宮国際中等教育学校について

- 6年間を通して「生涯にわたって自ら学び続ける力」や「自分の頭で考え抜き、新しい価値を生み出す力」など、国際的な視野に立って多様性を理解して探求し続ける「真の学力」を育むカリキュラムを展開。
- 国際バカロレアによる教育プログラム（MYP、DP）の導入準備を進める。

※国際バカロレアとは：国際バカロレア機構（本部ジュネーブ）が提供する国際的な教育プログラム。世界の複雑さを理解して、そのことに対処できる生徒を育成し、生徒に対し、未来へ責任ある行動をとるための態度とスキルを身に付けさせるとともに、国際的に通用する大学入学資格（国際バカロレア資格）を与え、大学進学へのルートを確保することを目的として設置された。

※ MYP とは：ミドル・イヤーズ・プログラム。1歳～16歳までを対象とし、青少年に、これまでの学習と社会のつながりを学ばせるプログラム。知識を統合された総合的なものとして示し、生徒がより広く、より複雑なグローバルな課題に対する認識を高めることが期待されている。

※ DP とは：ディプロマ・プログラム。6歳～19歳までを対象とし、所定のカリキュラムを2年間履修し、最終試験を経て所定の成績を収めると、国際的に認められる大学入学資格（国際バカロレア資格）が取得可能なプログラム。「日本語 DP」の対象科目等を除き、英語、フランス語又はスペイン語で実施される。

## 【カリキュラム】

### 1年→4年 基礎力をじっくり育む4年間 Empowerment Stage

#### 2020年度入学生 教育課程表(予定)

時数(単位数)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34
1年	言語と文学 (国語)		個人と社会 (社会)		数学 (数学)		科学 (理科)		芸術 (音楽/美術)		保健体育 (保健体育)		デザイン (技術・家庭)		言語の習得 (英語)		English Inquiry		道徳		3G Project		LDT		L		H		R					
2年	言語と文学 (国語)		個人と社会 (社会)		数学 (数学)		科学 (理科)		芸術 (音楽/美術)		保健体育 (保健体育)		デザイン (技術・家庭)		言語の習得 (英語)		English Inquiry		道徳		3G Project		LDT		L		H		R					
3年	言語と文学 (国語)		個人と社会 (社会)		数学 (数学)		数学 (数学I)		科学 (理科)		芸術 (音楽/美術)		保健体育 (保健体育)		デザイン (技術・家庭)		言語の習得 (英語)		English Inquiry		道徳		3G Project		LDT		L		H		R			
4年	言語と文学 (現代の国語) (言語文化)		個人と社会 (地理総合) (歴史総合)		GLOBALコース 数学 (数学I)		GLOBALコース 数学 (数学II)		GLOBALコース 科学 (生物基礎)		GLOBALコース 科学 (生物基礎)		芸術 (音楽/美術/) 書道)		保健体育 (体育) (保健)		デザイン (家庭基礎) (情報I)		言語の習得 (英語C1)		English Inquiry (論議・表現I)		3G Project		LDT		L		H		R			



## 5年・6年 実践してさらに応用力を育む2年間 Achievement Stage 2020年度入学生 教育課程表(予定)

▼ **Global Course** 世界に一步踏み込む ※大宮国際中等教育学校 Global Course は、世界的に評価の高い国際教育のディプロマ・プログラムを導入することを検討しています。

学年(単位数)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34
5年	Language A HL					History HL			Science SL			Mathematics SL			Arts SL			保健体育(体育)(保健)			Language B HL			知の理論(TOK)			30	LDT	L	H	R			
6年	Language A HL					History SL			Science HL			Mathematics SL			Arts SL			保健体育(体育)			Language B HL			知の理論(TOK)			30	LDT	L	H	R			

自ら問いを立てる能力を高め、課題解決を図り、国際的な感覚と視野を身に付け、本質を見極める力を磨く。

▼ **Liberal Arts Course** 現在と未来の世界を知る

学年(単位数)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34			
5年	文学(国語表現)(古典探究)		公民(公共)		地理歴史(公民/地理探究)		公民/地理歴史(公民/地理探究)		数学(数学II)(数学B)		科学(物理基礎)		科学(物理基礎)		保健体育(体育)(保健)		保健体育(体育)		言語習得(英語CII)		英語習得(英語CII)		英語習得(英語CII)		English Inquiry(課題探究)		リベラル探究		30	LDT	L	H	R				
6年	文学(論理国語)		公民/地理歴史(政経・倫理/日本史/世界史/地理)から2科目		公民/地理歴史(政経・倫理/日本史/世界史/地理)から2科目		公民/地理歴史(政経・倫理/日本史/世界史/地理)から2科目		数学(数学II/数学探究)		科学(数学II/数学探究)		科学(数学II/数学探究)		保健体育(体育)		保健体育(体育)		言語習得(英語CIII)(論理・表現III)		言語習得(英語CIII)		英語習得(英語CIII)		英語習得(英語CIII)		英語習得(英語CIII)		英語習得(英語CIII)		英語習得(英語CIII)		30	LDT	L	H	R

文系理系の区別なく、幅広く深い知識を得て、AIで代替できない創造的な教養を身に付け、国際的に活躍できるリーダーシップを磨く。

▼ **STEM Course** テクノロジーをきわめる

学年(単位数)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34			
5年	文学(国語表現)(古典探究)		地理歴史(地理探究)		公民(公共)		公民(公共)		数学(数学II)(数学B)		科学(物理基礎)		科学(物理基礎)		科学(物理基礎)		保健体育(体育)(保健)		保健体育(体育)		言語習得(英語CII)(論理・表現II)		言語習得(英語CII)		STEM		理数探究		30	LDT	L	H	R				
6年	文学(論理国語)		数学(数学II)(数学C)		数学(数学II)(数学C)		数学(数学II)(数学C)		科学(物理/生物)		科学(物理/生物)		科学(物理/生物)		科学(物理/生物)		保健体育(体育)		保健体育(体育)		言語習得(英語CIII)(論理・表現III)		言語習得(英語CIII)		STEM		理数探究		地理/理科		iデザイン		30	LDT	L	H	R

STEMの領域を横断させ、自分の頭の中のアイデアを形にし、AIを使いこなすための教養を身に付け、STEMの大枠を設計する力を磨く。

### 【学びの特徴】

“大宮国際中等教育学校では、いろいろな学びの時間が用意されていて、自分で考えた「なぜ？」から、学びがどんどん広がり深まっていく「しかけ」をつくっています。自分で考えた課題を探究していくことで、いろいろな教科のつながりや課題の裏に隠された背景を見つけ出したり、新たなアイデアを自ら発見したりして、学びの面白さを実体験することでしょう。そこでの学びの主役は「あなた」です。友達と一緒にグループ活動を行ったり、タブレット PC を使ったり、学校内外の先生方に教えてもらったりしながら、さらに深い学びを実現していきます。発表は日本語や英語を使って行います。そして、探究する力、協働する力、表現する力などを育み、国際的に活躍するための「真の学力」を身に付けていきます。”

### 3G Project\*

\*3G: Grit・Growth・Global

身近な問題から世界的な問題を題材とした課題の解決に向かって取り組みます。日本語(英語)で考えをまとめ、互いにディスカッションし、協働で最善解を見つける力を養っていきます。そして、主体的に学び続ける姿勢やチームで課題解決に向かえる要素を育みます。

### LDT\*

\*Learner Directed Time の頭文字

土曜日の隔週で行われる自分で自分の学習をプロデュースする時間です。大学や研究機関、医師会や経営者協会などの外部団体からテーマの方向性や専門的な内容についてアドバイスを受けたり、3G Projectでの内容をまとめ、他校生徒や保護者、地域の方々への発表を行ったりします。必要性に応じて自分で必要なだけの時間をかけ、自分の知識を豊かにすることができます。

### All English

毎日、朝の時間帯に生徒・教職員すべての人が英語で様々な活動に取り組みます。プレゼンテーション、日記、外国人への手紙など、英語で自分を表現する力を向上させます。

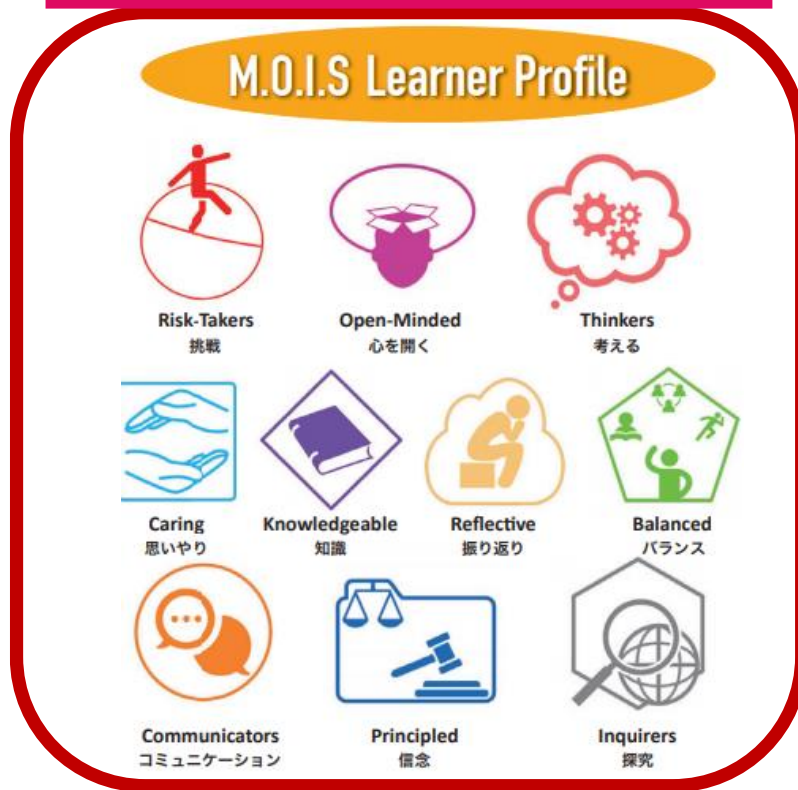
### 各教科

学びは1つの洗練された問いからスタートします。そこから学びが広がり深まっていきます。物事の本質や背景に迫る学びは興味・関心を高めるだけでなく、各教科をつないだ学びへと変化していきます。

### English Inquiry

中等1年～4年まで週2時間、英語ネイティブ教員によるイマージョン教育を行います。各教科で学習した内容をお互いに関連付け英語で学ぶことで、深い知識を習得するだけでなく、異文化などの世界観を知ることができます。

## SDGsを意識したプロフィールの設定



M.O.I.S : Municipal Omiya International Secondary School

### 【SDGs テーマへの取り組み】

- 授業枠の中で直接 SDGs をテーマとしてはいないが、土曜日の隔週 午前中に、生徒が自分たちで学習内容を決めて展開している課外活動の中で、芝浦工業大学とのワークショップを展開。
- さいたま市の SDGs を考えるワークショップを行い、SDGs のアイコンについて英語で議論し、ポスターにまとめた。



## 6 地域×未来×イノベーションの学びの場

### 6.1 専門職大学とは

- 学校教育法の一部改正により 55 年ぶりに新設された新しいタイプの大学／短期大学。専門とする職業分野の高度な実践力と、それを他分野の知識等と結びつけて新たなモノやサービスを生み出す豊かな創造力を育てることを目的とする。
- テクノロジーの急速な進化など、産業構造が急激に変わっていく中、優れた「専門技能」と高度な「実践力」、そして新たなモノやサービスを創り出せる「創造力」を有する人材の育成強化が急務となっているが、既存の大学ではその要望に応えきれない状況の中、質の高い実践的な職業教育を行う新たな高等教育機関として制度化された。
- 既存の大学との大きな違いは次の 3 つとなっている。
  - ① インターンシップを 600 時間以上行うことが、卒業条件になっていること。
  - ② 授業が原則すべて 40 名以下で行われること。
  - ③ 実務家専任教員が 4 割以上を占めることが義務付けられていること。なおかつその半分は、大学等での教員歴、修士以上の学位、企業等での研究上の業績のいずれかを持つ人材でなくてはならないこと。
- 認可されたものは、18 年度 3 校、19 年度 7 校となっている。

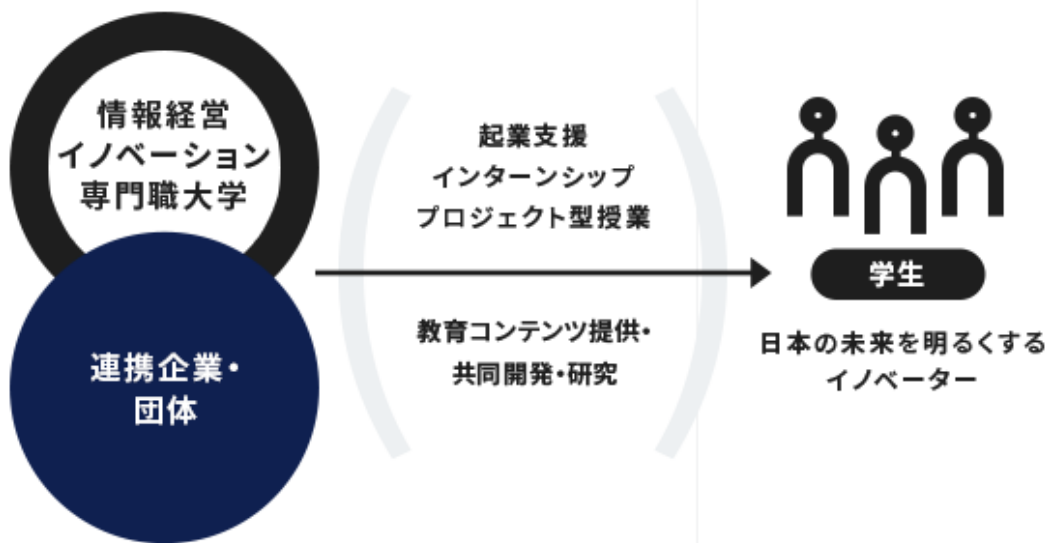
### 6.2 学校法人電子学園 情報経営イノベーション専門職大学について

- 20年4月に墨田区に開学する専門職大学。社会問題を解決するサービスや、世の中のニーズを先取りしたビジネスを担う、世の中にイノベーションを起こしていく人材の育成を目指している。
- 情報経営イノベーション学部 情報経営イノベーション学科を展開。経済経営系の分野50%、情報系30%、グローバル系20%で構成される文理融合型大学。SEやクリエイターという専門職を育てるのではなく、ICT時代に、グローバルな現場でリーダーとなる人材を育てる。
- 専任教員には、スーパーコンピュータ「京」を開発した富士通の研究者など、素晴らしい実績を持つ実務家教員が全体の80%以上を占めており、ドワンゴ社長の夏野剛氏ほか、100名を超える多岐にわたる分野の専門家が客員教員に名を連ねる。
- NTT、ソフトバンク、パナソニック、SAP、AU、シスコシステム、TBS、吉本興業等、約30社が協力。
- 学生には全員、半年間のインターン及び、卒業までの起業のための事業計画作成が義務付けられている。※起業の職種としては、地域課題を解決する社会的起業、コミュニティビジネスをイメージ。現実的なプランには、資金援助も行われる。将来的には事業の利益による授業料の無償化も想定。
- 4年後には英語でディベートできるようになることを目標とする。
- 本当の学びを求めて優秀な学生が殺到し、定員を上回る応募があった。



“ ICTで、まだない幸せをつくる。”

ICTが欠かせない時代になるからこそ、ICTの知識をベースに、  
 既成概念にとらわれない柔軟な発想で、  
 農業や観光、医療、工業などあらゆる産業の課題を解決する。  
 そして、世の中にまだない幸せをつくっていく。



#### 【大学と墨田区との連携】

- キャンパスがある墨田区と連携し、行政や地元企業、金融機関で新たなサービスや商品開発も実施。地域や企業が抱える課題に対して、学生が ICT を手段として解決していくケーススタディやフィールドワークを展開。さらに区内の商店街の活性化なども行い、墨田区のよりよい街づくりにも貢献。
- 墨田区にはこれまで、大学が一つもなかったため、市の体育施設を、同校の体育館と

して貸与するなど、積極的な協力姿勢を取っている。

 墨田区 Sumida City	 情報経営イノベーション 専門職大学	墨田区内の中小企業のICTに関する知識・技術の向上や、区内産業の活性化、教育・学習面での貢献などが期待されることから、平成29年12月4日に、包括的連携協定を締結するに至りました。
<b>主な連携プロジェクト</b>		
 ICTの専門的な知識・技能・研究成果を中小企業へ教示	 中小企業に「人材供給」「事業開発」「起業支援」を推進	 留学生の受入れ強化とキャリア支援

### 6.3 中村 伊知哉 氏の考える“地域×未来×イノベーションの学びの場”とは

- 2030年、40年には、そもそも学校が必要なのかという状況になっていると考えており、そのため学校の枠を超えた新しいカリキュラムが必要になると考えている。
- 授業はほとんどがオンラインでできるようになるため、この場所に来ないといけないことだけをカリキュラムにしようと考えている。そのため「ビジネスモデルをつくる」というところを強みにしていこうと考えている。
- またバーチャルの学びとリアルな場の強さ、が両方必要になってくると思われる。
- 4年後にはソーシャルな学科をつくり、それを中心とした展開を図ろうと考えている。これを社会学ではなく、実際にソーシャルビジネスやコミュニティビジネスを展開している人たちと作りたいと考えている。

## 7 まとめ

### 7.1 まとめ:神戸市が目指すべきSDGs達成に向けた取り組み～未来の神戸市を担う

次世代育成の視点から～

- **フューチャー・デザインの展開**  
将来世代に持続可能な自然環境と人間社会を引き継いでいくための、未来に向けた政策づくりのアプローチモデルであるフューチャー・デザインを展開する。
- **「グローバル教育 3.0」への取り組み**  
「グローバル教育 3.0」＝“革新的な技術を「使う」だけでなく、「作る」、あるいは「活かす」ことで、(SDGsを推進する)社会に貢献する人の育成”へ取り組むことで、グローバルな視野のある市民を増やし、市政にそのような市民からの声が届き、よい影響を与える形をつくる。
- **SDGs 未来都市として“まちづくりと教育”を一体化させた取り組み**  
教育の拡充をまちづくり施策の柱の一つとして位置づけることで、地域間競争が激しくなる中でのシティセールスの一つとする。
- **地域×未来×イノベーションの学びの場の創出**  
地域課題を解決する実践的な知のプラットフォーム、将来的なイノベーションに対応できるような新しい未来の学校の設置（展開）を検討する。

## 7.2 調査報告会での討議内容

質問：本来、本来地域の子どもたちを受け入れるために中学校と連携した展開を図るということだと思うのだが、地域外から転入してきて受験ということになると、地域の子どもたちの受け入れができなくなるが、そのあたりの考え方はどうなのか。

回答：地域の子どもたちは優先される仕組みとなっている。また一方、地域内でも公立校間の差が出てしまうのではという意見があったが、さいたま市立大宮国際中等教育学校で培われたノウハウを、だんだんと他の公立学校へと移していき、格差をなくしていくことが考えられている。

質問：このような学校をつくると抵抗勢力があるのではないか。

回答：確かにそうであるが、市長が旗を振る形で、全面的な市のバックアップがあるため展開できている。

質問：社会のエリートを育てるにはどうすべきかという話に寄っているように思われる。公明党及び創価学会では、人種や国籍関係なく、桜梅桃李、それぞれの個性でよいという考え方に立っており、「国籍は世界です」というキャッチコピーが創価学会のスローガンにもなっている。SDGsはそういう話であると考えている。ルールを守ることができるか、おもいやりを持つことができるかなどが大切である。一部のとびぬけて優秀な人ではなく、商店街、レストランなども含め、いろいろな分野で技術やテクニックを持った人が社会全体にいないといけなとと考えている。そう考えてみると、学校法人電子学園 情報経営イノベーション専門職大学を卒業した後に、なぜコミュニティビジネスなのかという話になってくる。コミュニティビジネスは儲からないので、ニューヨークなどで稼げばと思うが、そうではない。補助金ではなく、ビジネスとしてきちんと回っていくコミュニティビジネスをつくることのできる人材を育てる。そういうことを公教育が行っていくということは革命的な話であると思われる。今の教育委員会ではできないのではないか。

回答：中村 伊知哉 さんに同じようなことを質問したが、「すぐにはできないし望んでいない」という回答であった。学校法人電子学園 情報経営イノベーション専門職大学と連携している墨田区でも、ビジネスに行き詰まり、困っている商店街、中小企業の人が一番縁遠いのが ICT であるが、ICT を使ってビジネスでの行き詰まりを解決していくことのできる人材を育成したい、それがゴールだと考えている。地元の人と一緒にあって取り組むことができる、そのような人材を育成したいということである。

質問：SDGs といってもゴミをどう片付けるか、お年寄りをどう助けるかといったようなことが基本にある。そのような課題が解決できないのに、世界がどうだということもおかしいと思っている。足元からまず取り組むということなのではないか。墨田区ではそれを社会的ケーススタディとして取り組んでいるというので、足元の社会的課題を解決するために何を教えていけばよいかということが見えてくるのではないか。

回答：コロナの感染拡大に伴い、IT で教育ということが言われるようになってきているが、対応できる自治体が今はまだない。しかし IT での教育が一般的になった時に、では学校に行くときには何をするのかという話になってくる。覚えるための学習は家でいい、学校では議論を行う。先生の役割は議論を面白くするためのファシリテートをどのように行っていくか、ということになっていくのではないか。

質問：さいたま市立大宮国際中等教育学校を視察した際に、学校に通ってきている子どもたちが、とてもいきいきしていた。子どもたち同士、さらには外の人材にも入っ



てもらい、学ぶということがとても楽しいようであった。国際バカロレアでも、主体性、多様性、協調性ということが重視されている。

意見：今年から小学校の英語教育が義務付けられたが、ようやくだと思っている。神戸の須磨学園高等学校・中学校では生徒にスマートフォンを配り、英語の発音練習などを行っているため、子どもたちは英語がしゃべれる。アスキーの西和彦さんが学園長を務めている。実践的な学びを行っており、進学率も高い。

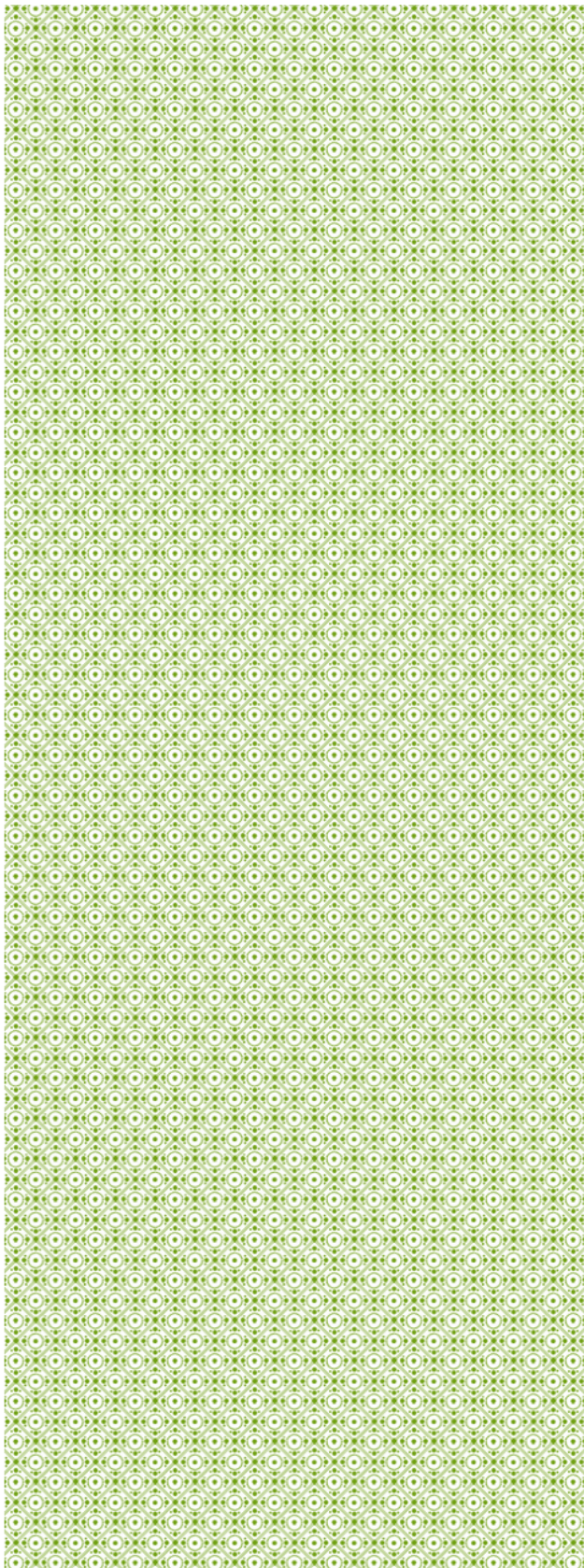
意見：兵庫県では淡路島の AIE 国際高等学校がバカロレア認定校となっている。

意見：東洋思想的なものの素養、人生をどう考えるか、どういう生き方がいいのか、人間が生きていく上での哲学的な部分が大切なのではないか。多様性と言われるが、なぜ多様性が必要なのか、基本的な要素を価値観としてはっきりさせればよいのではないかと思われる。両親や学校の先生などに価値観がない。むしろテレビドラマのほうが、価値観が出ているように思われる。職業教育にしても、パティシエなど、タレントが価値観を提供しているドラマを見て子どもたちが憧れるということがある。

意見：中村 伊知哉 さんはクールジャパンを推進してきており、留学生に、「日本で一番クールなことは何か？」と質問すると、皆、「日本のお母さんだ」と答えるということだ。理由は、どの国の料理もつくれるから。他国のお母さんは、その国の料理しかつくらない。日本の良いところは、「食文化と安全」ということだ。また学校法人電子学園 情報経営イノベーション専門職大学は、教員の 8 割以上が実務家であるため、そういう人から人生経験を学び、600 時間のインターンで社会を学ぶことができる。そういったことが子どもたちの学びを変えていくのではないかと思われる。吉本興業とも連携しており、収入のない 1000 名ほどのタレントを日本全国の地域に派遣し、町おこしをミッションとして、地域の住民たちと様々な活動をするといったことも行われている。

神戸市が目指すべきSDGs達成に向けた取り組み  
～未来の神戸市を担う次世代育成の視点から～

2020年3月  
株式会社T. I. E

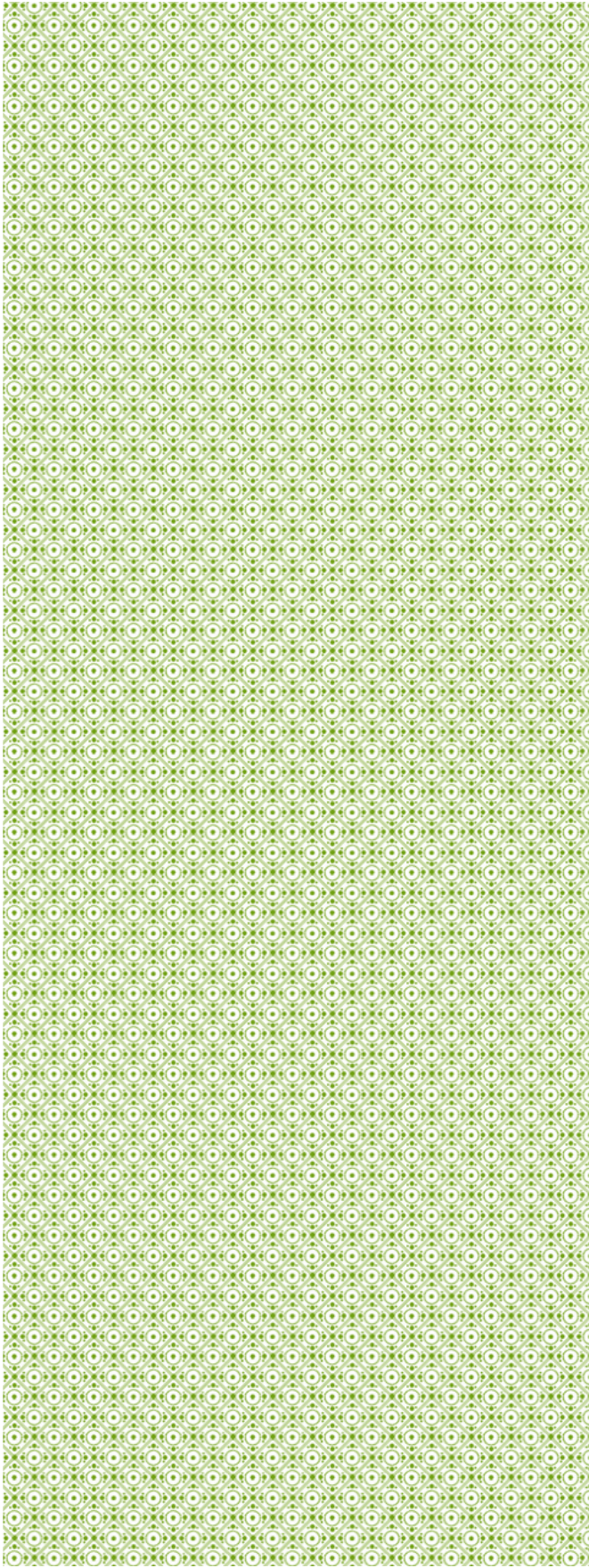


## 調査目的と調査概要

◆ 調査目的  
世界的な流れとなっているSDGsの達成に向け、神戸市としてどのように取り組んでいくべきか、その一つの鍵が、未来を担っていく次世代教育にあると考えられる。本調査はこのような視点から、最新の次世代教育を展開する教育機関と、まちづくり戦略と次世代教育を色濃くリンクさせている自治体の展開等について調査することで、未来の神戸市を担う次世代育成の視点から、神戸市が目指すべきSDGs達成に向けた取り組みを検討するための材料を提供するものである。

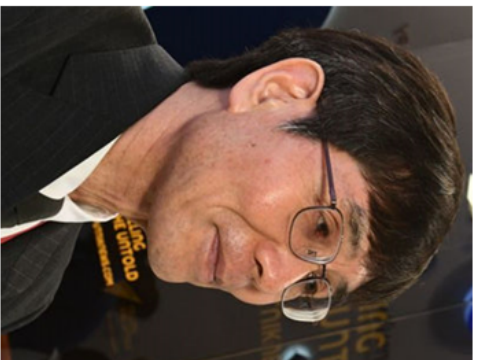
### ◆ 調査対象

1. はじめに～地方自治体のSDGsを推進する手法としての「フューチャー・デザイン」の可能性について  
調査対象：西條辰義 氏（総合地球環境学研究所特任教授（プロジェクトリーダー）、高知工科大学マネジメント学部教授、フューチャー・デザイン研究所 所長、東京財団政策研究所 上席研究員）
2. SDGsの推進に寄与する次世代教育に関する動向  
調査対象：山下一 氏（株式会社首都圏中学模試センター代表取締役社長）
3. 21世紀（未来）型教育、世界標準（グローバル・スタンダード）教育への取り組み  
調査対象：平方邦行 氏（工学院大学付属中学校・高等学校 校長）
4. まちづくり×次世代教育の推進  
調査対象：竹内孝央 氏（さいたま市教育委員会事務局 管理部 教育政策室 課長補佐）、田方靖高 氏（さいたま市教育委員会事務局 管理部 教育政策室 主査）、根岸君和 氏（大宮国際中等教育学校 副校長）
5. 地域×未来×イノベーションの学びの場  
調査対象：中村伊知哉 氏（学校法人電子学園 情報経営イノベーション専門職大学 学長）
6. まとめ



1. はじめに  
～地方自治体のSDGsを推進する手法としての  
「フューチャー・デザイン」の可能性について

## 調査対象



西條辰義 氏  
(総合地球環境学研究所特任教授 (プログラムディレクター)、高知工科大学マネジメント学部教授、フューチャー・デザイン研究所 所長、東京財団政策研究所 上席研究員)

1952年生まれ。香川大学卒業。一橋大学大学院を経てミネソタ大学大学院経済学研究科博士課程修了。持続可能な社会をめざし、ヒトの将来可能性 (将来の世代が良くなるなら今の自分も幸せになること) をアクティベートする社会の仕組みのデザイン (フューチャー・デザイン) に取り組む。

<http://www.souken.kochi-tech.ac.jp/seido/index.php>  
<https://researchmap.jp/saijo/?lang=japanese>

### ※参考文献

フューチャー・デザインー持続可能な自然と社会を将来世代に引き継ぐためにー

[https://www.jstage.jst.go.jp/article/reeps/11/2/11\\_29/\\_pdf/char/ja](https://www.jstage.jst.go.jp/article/reeps/11/2/11_29/_pdf/char/ja)

フューチャー・デザイナーとは

ヒトの〈将来可能性〉を生む  
社会の仕組みのデザインとその実践

||

未来に向けた政策づくりのアプローチモデル

・ 将来世代に持続可能な自然環境と人間社会を引き継いでいくために、  
どのような社会の仕組みをデザインし、実践すればよいのだろうか。

**将来可能性**：現在の利得が減るとしても、これが将来世代を豊かにするのなら、この意思決定・行動、さらにはそのように考えることそのものがヒトをより幸福にするという性質。



ヒトの〈将来可能性〉を生む社会の仕組みのデザインとその実践 = **Future Design**

## 社会の仕組みを変革する一つの手法である、仮想将来世代について ～岩手県矢巾町のケース（1）

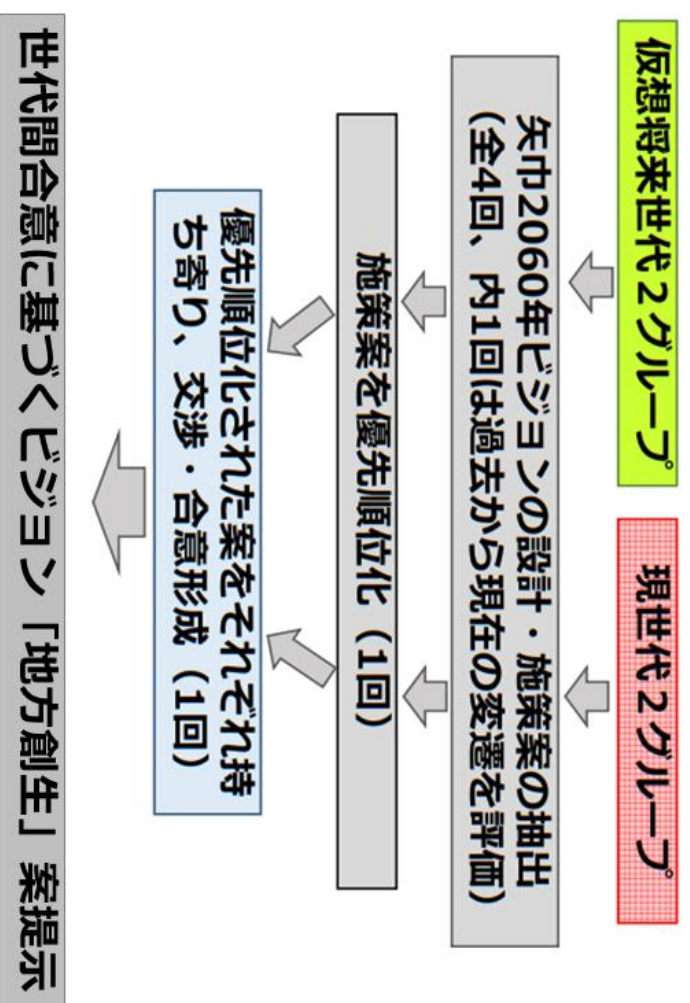
- 2008年から水道行政の方針について話し合う市民ワークショップを定期的に実施。水道事業における最も先進的な取り組みとなる。
- その後も検討を重ね、2018年に高橋町長が施政方針演説の中で「フューチャー・デザイナー町宣言」を行い、後に「未来戦略室」を設置、総合計画をフューチャー・デザイナーで計画する。

### ・岩手県矢巾町の討議実践：2060年の将来プラン作成。



社会の仕組みを変革する一つの手法である、仮想将来世代について  
～岩手県矢巾町のケース（2）

## 矢巾町フューチャーデザイン討議（2015-6）





社会の仕組みを変革する一つの手法である、仮想将来世代について  
～岩手県矢巾町のケース（3）

## 現世代は将来ではなく現代に軸足

- ・ **現世代のグループは「今」の問題を「将来」の課題**：現世代は、将来を現在の延長として捉え、現在生じている問題・課題の解決を念頭にビジョンを設定し、現在の状況・制約の中でアイデアを提出。

・ **今の生活を改善するのが主眼**（「待機児童の解消」や「老人介護施設の増加」）

- ・ **既存の施設・枠組みの改善。**
- ・ **現世代に負担がかからない施策。**
- ・ **短期的に効果のある施策。**
- ・ **他の地域との比較。**
- ・ **既存の仕組みや制度を与件。**



社会の仕組みを変革する一つの手法である、仮想将来世代について  
～岩手県矢巾町のケース（4）

## 仮想将来世代は独創的

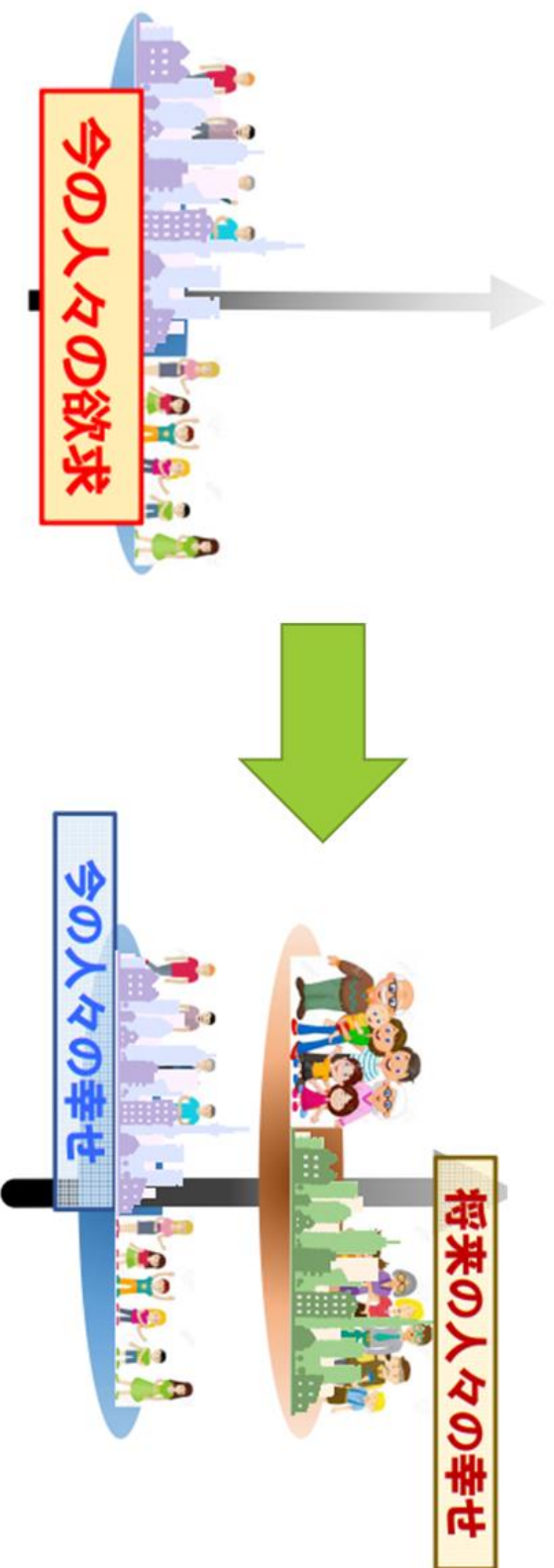
- ・ <複雑で時間がかかる課題ほど解決の優先度を高め、自由に将来を描き、地域のメリットや資源に着目し、それを継続的に活用することを考察>
- ・ **将来の矢巾の人々の豊かな生活を担保・構築することが真の目的。将来の人々の生活の有り様や生き方、価値観そのもの**に対する思いが議論の起点。
- ・ **目的の実現のための施策・ビジョンを個別ではなく、それらがつながっていてストーリーを展開。**
- ・ **目的の達成のため、既存の仕組みなどを変更可能なもの。**
- ・ **将来起こるであろう技術革新を積極的に取り込む柔軟な姿勢。**
- ・ **都市化や高齢化などに沿って新たな政策を考察。**
- ・ **現在の課題を認識した上で、その延長ではない新たなビジョンを提起。**



未来に向けた政策づくりのアプローチモデルとしての  
コミュニチャー・デザイン (1)

従来の政策デザイン

コミュニチャー・デザイン



未来に向けた政策づくりのアプローチモデルとしての  
フューチャリー・デザイン (2)

- ・ **地方議会に将来議員を**
- ・ **参議院を将来議院に**
- ・ **G7やG20の世界の首脳たちの討議に**
- ・ **国際連合の意思決定の場に**
- ・ **企業の意思決定者や社員の皆さんに**
- ・ **社会的・工学的イノベーションの方向をさ**  
**ぐるために**

- ・ 「欲求充足型」の医療から「不安除去型  
(FD型)」の医療へ (本庶教授)
- ・ **教育の現場に**

...



神戸市でもフューチャー・デザインの展開を



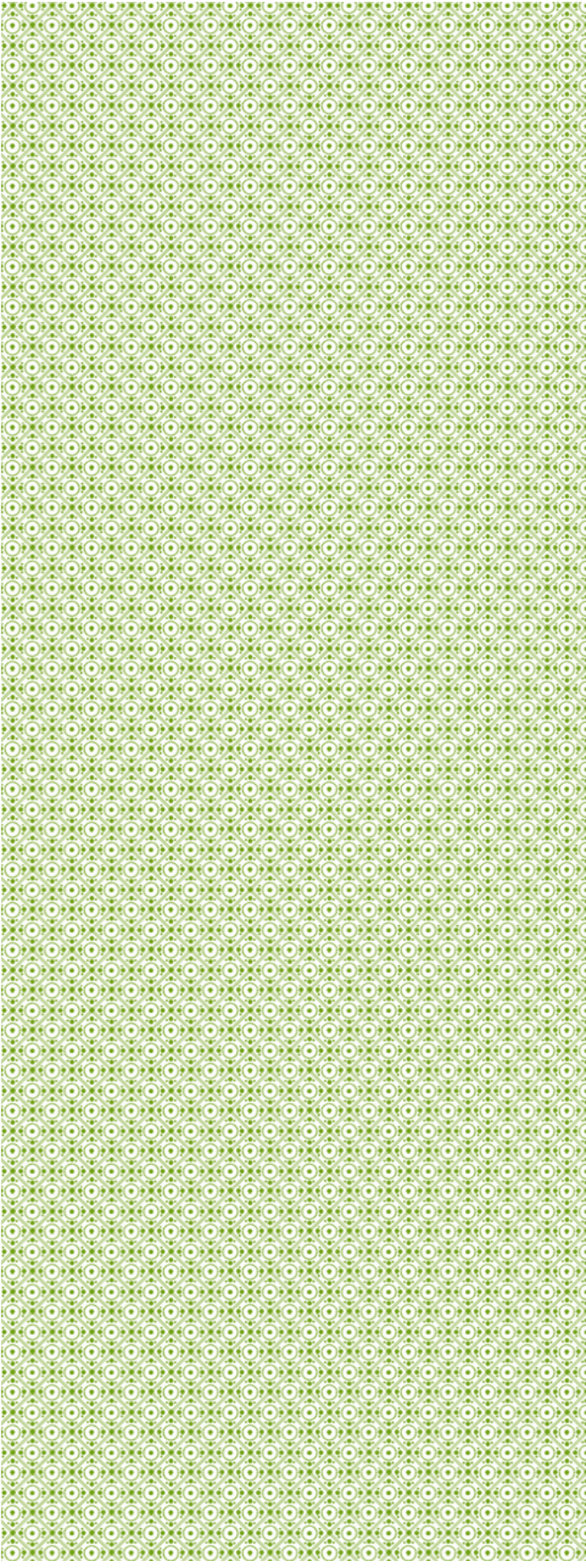
皆さんも

**Future Design 研究**  
をしませんか？



「フューチャー・デザインの手法が神戸市においても有効であると考えられる」

「フューチャー・デザインは、市民と一緒にまずは展開してみないとわからないので、  
実証実験的を実施してはどうか」



## 2. SDGsの推進に寄与する次世代教育に関する動向

## 調査対象

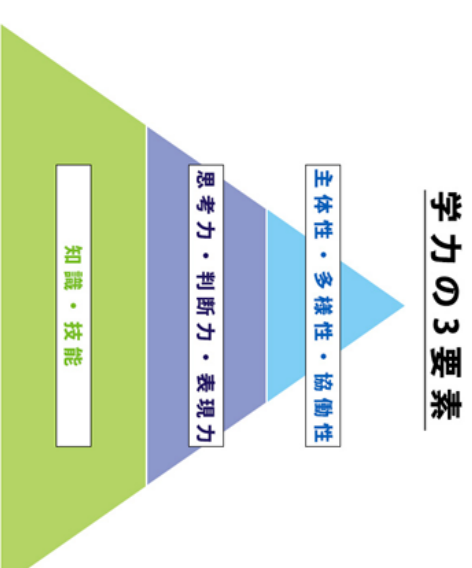


株式会社首都圏中学模試センター  
代表取締役社長  
山下一 氏



社会の変化に伴い、大きく変わる日本の教育と入試  
～進むSDGs人材の育成

- 知識中心型から、課題発見・解決型、創造的思考型へと、必要とされる教育内容が変わっている中、2020年度 大学入試改革（高大接続改革）」の中では、新たな評価軸として、「主体性・多様性・協調性」が加えられた。
- 「主体性・多様性・協調性」の育成において、まさにSDGsがテーマとなってくるため、私学を中心に多くの学校がSDGsを扱うようになってきている。





## 都市開発や地域活性とセットで計画される、これからの教育

- 「先進的な自治体は、首長が都市開発と教育を一体化して考えている。次の経済発展のための手法の一つとして教育をとらえている。」

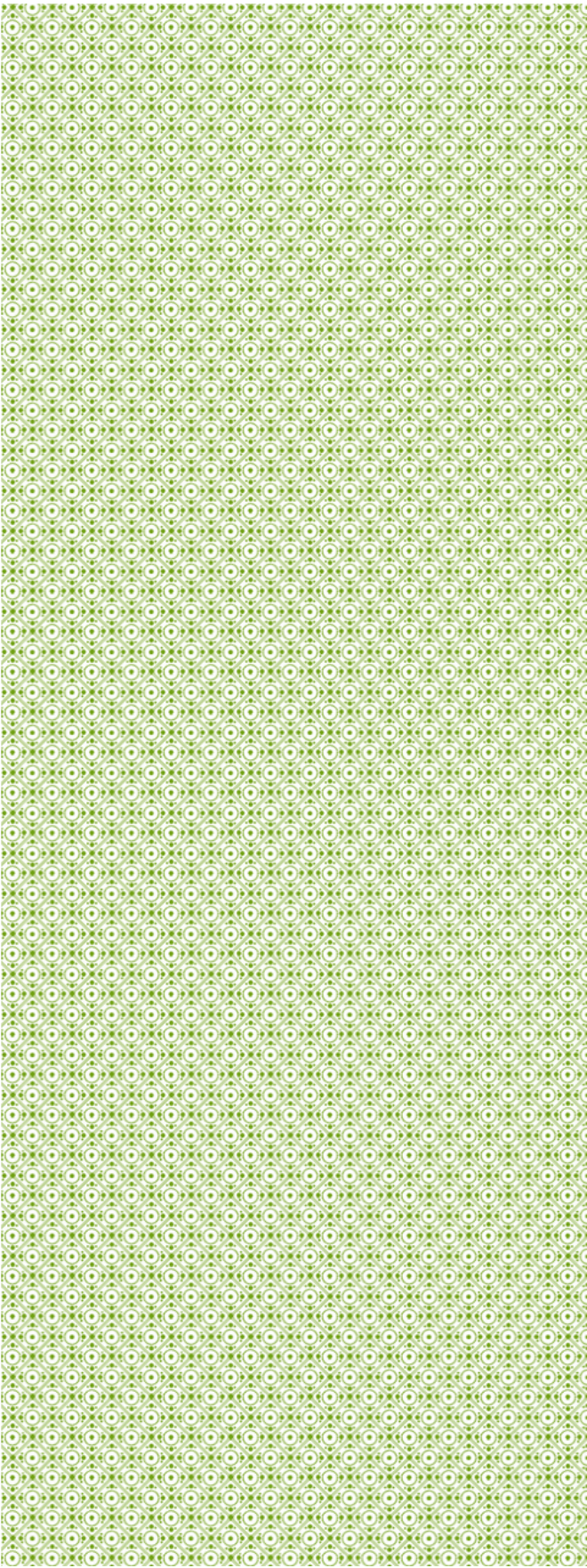
- 「未来の学校として、全学生を在学中に起業させ、その利益で大学を無料化するという先進的な取り組みもある。墨田区で、下町の経済発展とセットで考えられている。」

■ ■ ■ ■ ■  
先進的な取り組みとして

■ ■ ■ ■ ■

さいたま市（教育委員会）  
さいたま市立大宮国際中等教育学校

学校法人電子学園  
情報経営イノベーション専門職大学



### 3. 21世紀（未来）型教育、 世界標準（グローバル・スタンダード）教育への取り組み

---

## 調査対象



平方邦行 氏  
(工学院大学付属中学校・高等学校 校長)

1951年生まれ。東京農業大学農学部農学科卒業後、都内の区立中学校教諭、聖学院中学校・高等学校の教諭・校務部長などを経て、2013年より工学院大学付属中学校・高等学校校長。

## 平方先生のビジョンと取り組み

- 世界が変っていく中、教育だけ変わらないのはおかしいという考えから、「**21世紀型教育ニグローバル教育3.0**』というコンセプトのもと、**講座中心ではない、アウトプット中心型の教育**を行う。
- ちとちとは公立中学校の先生であったが、公立学校では理想とする教育を行うことができないと感じ、ミッションスクールに転職。海外視察の際に、教育におけるアートやクリエイティブの重視、ピアインストラクション手法などを知り、これからは、PBL中心に行っていけないと、「**知識や過去の経験だけで未来社会の課題を解決することはできない**」と考えるようになる。今後の教育の場においては、**創造性、クリエイティブが重要**であると考える。
- これらは、校長のトップダウンでないと実現できないと考えていたところ、立て直しを検討していた同校から声がかかり、学校改革に取り組んだ。
- 市との連携を図ることなく、独自の取り組みとして進めている（教育委員会の規制に対するネガティブな見解がある。）

## グローバル教育3.0とは

革新的な技術を「使う」だけでなく、「作る」、あるいは「活かす」ことで、社会に貢献する人になる。そのために、世界に学び、世界と学ぶ。そのベースとなる国際的なコミュニケーションを身につけるための教育コンセプト。

	GE1.0	GE2.0	GE3.0
CEFR	A2	B2	C1
Learning	Lecture	Active Learning	PBL×STEAM
Global Network	語学研修	留学	Global Immersion
Web	Web1.0	Web2.0	Web3.0
思考力	知識・理解	応用・論理	批判・創造
大学入試	センター試験	入学共通試験	グローバル高大接続試験

## グローバル教育3.0に基づくカリキュラム

グローバル教育3.0のコンセットに基づき、Global Immersion、探求と未来、世界貢献、STEAMの4つの柱でカリキュラムを展開。





## 特徴的なカリキュラムや設備など

## SDGs人材の育成

### 日本初のCambridge Englishスクール

ケンブリッジ大学出版発行の教材を採用し、英語学習の成果をケンブリッジ英語検定で測定するZZZ学校のうち、学校全体で英語力向上に取り組むことに関し、3カ年計画のコミットメントを約束した学校を対象とするスキーム。



### 図書館へのFabスペースの設置

フロラミング講座やワークショップを定期開催し、3Dプリンターやフロラミングなど、デジタルテクノロジーを駆使したものづくりを通して、生徒たちの「自ら学ぶ力」を育む。



### Asian Student Leadership Conference

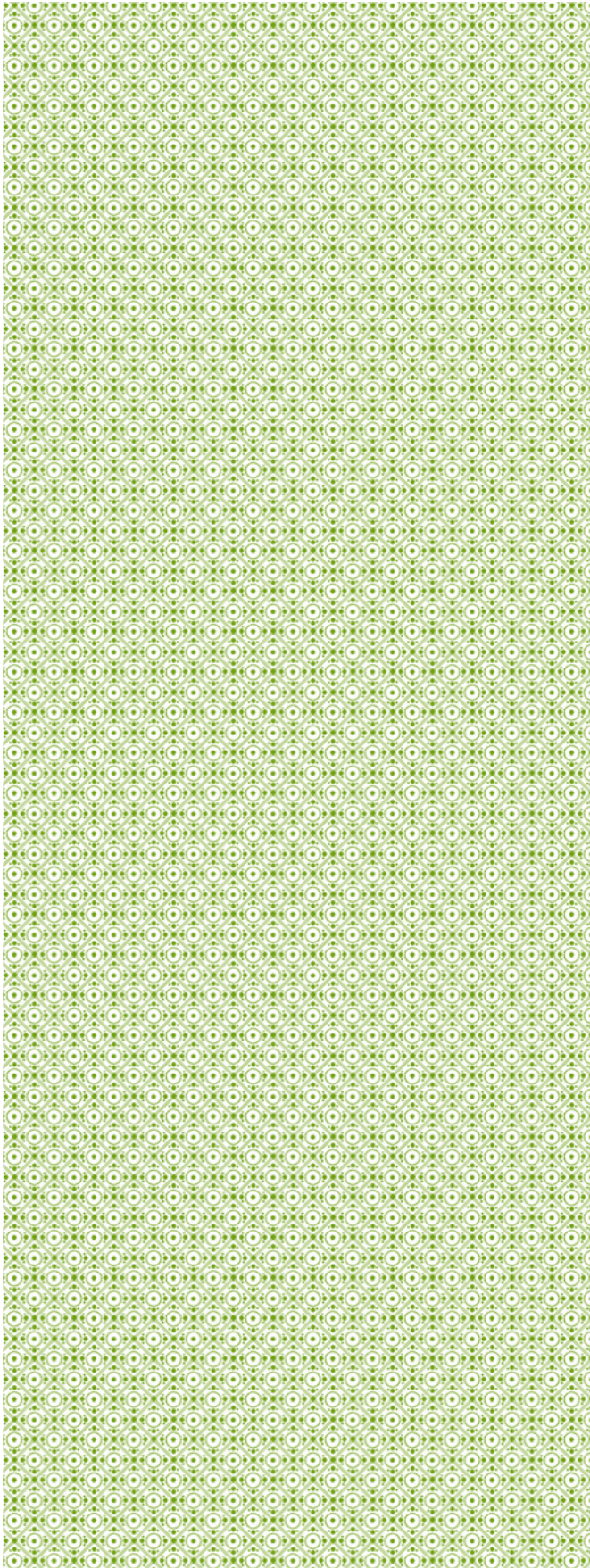
ASEAN諸国の若者が社会を変えるチエンジメーカーに変わるよう支援する団体・Youth Ambassadorsが主催するプログラムへの参加。2019年の参加者は約300名、日本からの参加は同校のみ。



### MoG (Mission on the Ground)

アジア新興諸国をはじめ世界各地で社会事業家の方が抱えている経営課題の解決に挑む実践型の教育プロジェクト。例として、インドネシアのチサロ/村を対象とした、現地の社会起業家と共に、村のこみ問題を解決させるプロジェクトなどがある。





#### 4. まちづくり×次世代教育の推進

## 調査対象

---

竹内孝央 氏  
(さいたま市教育委員会事務局 管理部 教育政策室 課長補佐)

田方靖高 氏  
(さいたま市教育委員会事務局 管理部 教育政策室 主査)

根岸君和 氏  
(大宮国際中等教育学校 副校長)

## さいたま市の概要

- 埼玉県の南東部に位置する県庁所在地。
- 平成13年5月に旧浦和・大宮・与野の3市合併により誕生し、平成15年4月1日には全国で13番目の政令指定都市へと移行、さらに、平成17年4月1日の旧岩槻市との合併を経て、関東圏域を牽引する中核都市として、さらなる発展を目指している。

- 令和2年3月1日現在市内の人口・世帯人口総数：1,315,107人（世帯数：603,150世帯）最近30年、一貫して増加傾向にある。



### さいたま市人口130万人突破 背景に子育て世代の高評価

2018.9.21 07:07

さいたま市の清水勇人市長は20日の定例記者会見で、市の人口が130万人を突破したと発表した。清水市長は「市民がそれぞれの立場で地域づくりに関わり、魅力ある市として市内外から受け止められている結果だ」と述べた。平成13年に旧浦和、大宮、与野の3市による合併で「さいたま市」が誕生して以来、人口増が続き、現在までに約27万人増えたことになる。

市によると、18日現在の人口は130万400人で全国9位。市誕生以来、出生数から死亡数を差し引いた自然増減、転入者数から転出者数を差し引いた社会増減のいずれも増加が続いている。平成25年以降は転入者の約6割が20～30代となっている。



① 住みよきランキング (2018年)	東洋経済新報社	政令指定都市中	1位
② 住みたい街ランキング (2018年)	リクルート住まいカンパニー	大宮 9位 浦和 10位	
③ 幸福度ランキング (2018年)	東洋経済新報社	政令指定都市中	2位
④ 市民意識調査 (平成30年度)	さいたま市	住みやすい 住み続けたい	84.2% 86.1%

## さいたま市のまちづくりビジョン、教育ビジョン構築の背景

- 「**新しいまちづくり、新しい教育**」が、市長の選挙のマニフェストの一つであった。
- 少子化、高齢化を受け、教育に重点を置くというのが市の政策としてあった。子育て世代が増えてきており、さらにこれを伸ばすためには教育が必要であろうと考え、市の重要な施策として位置付けている。**都内の私立に行くのではなくて、地元で育てようという市の思いがある。**
- さいたま市は「SDGS未来都市」の認定を受け、柱の一つに「**教育（教育・文化）**」を掲げている。
- **まちづくりにおいて教育を柱としていく**際に注力する施策として、市立大宮西高等学校を市立大宮国際中等教育学校に改編し、**グローバル化先進校**としての取り組みをさらに充実・発展させるとともに、**国際バカロレア認定の実現**を目指す。

## さいたま市のまちづくりビジョンと、それに基づく教育ビジョン

- 総合振興計画「2020さいたま希望のまちプラン」の中に「きめ細やかで質の高い教育の推進」を位置づけ、具体的な事業としては、「**市立高等学校『特色ある学校づくり』事業**」、「**グローバル人材を育成する中等教育学校の整備**」を設定。
- 「さいたま市教育アクションプラン」の中では、2030年を見通した人間像として、**グリット、グローバル、グロウスの3Gを位置づけ**、「2020さいたま希望のまちプラン」の具体的な事業の中での実現を図る。

### 「未来を拓くさいたま教育」を推進する「PLAN THE NEXT 3つのGで日本の教育都市へ」

#### 第一のG：Grit(グリット)「やり抜く力で質の学力を育成すること」

やり抜く力とは、目的を達成するために継続的に粘り強く努力し、もろことを最後までやり遂げる思考態度のことです。「質の学力」とは、知識・技能や思考力・判断力・表現力等の「認知能力」と、学びに向かう力やものをやり抜く力、自励心等の学びの下支えとなる「非認知能力」を合わせた学力のことです。



#### 第三のG：Growth(グロウス)「一人ひとりの成長を支え、『生涯学び続ける力』を育成すること」

「生涯学び続ける力」とは、生涯にわたって、計画し、探求し、行動し、そして、振り返るといった連続性のある主体的・創造的な学びを通して、自己の能力を高め、成長につなげる思考態度のことです。

#### 第二のG：Global(グローバル)「国際社会で活躍できる力を育成すること」

「国際社会で活躍できる力」とは、多様性を理解し、世界を舞台に挑戦する主体性と創造性、豊かな人間性を持ち、言語や文化で異なる人と外国語で意思を伝えたり、交流したりするのに必要な思考態度のことです。

### 0202 グローバル人材を育成する中等教育学校の整備

グローバル人材を育成するために、市立大宮高等学校を市立大宮国際中等教育学校に改編し、グローバル先進校としての取組をさらに充実・発展させるとともに、国際バカロレア認定を実現します。

目標指標	① 市立大宮高等学校の中等教育学校への改編に向けた校舍整備
	② MYP 認定 (国際バカロレア機構提供の中学1年生~高校1年生相当の生徒を対象としたプログラム)
	③ DP 認定 (国際バカロレア機構提供の高校2年生~3年生相当の生徒を対象としたプログラム)



## シタイセールスへの積極的な活用

- さいたま市は、0～14歳の転入超過が全国一位であり、マンション建設も進んでいるため、子育て世代が増えています。さらにこれを伸ばすために、シタイセールの柱として「教育の充実」を積極的にPRしている。

やりぬぐ力で「国の学力」を評価する

学力からさいたま市

**さいたま市の学校教育**

---

**全国トップクラスの学力がスゴい!**

平成31年度（令和元年度）全国学力・学習状況調査

**全国平均を大きく上回る結果に!**

科目	さいたま市	埼玉県	大都市	全国平均を大きく上回る結果に!
国語	671(+3.2)	63.8	63.9	平成31年度(令和元年度)の「全国学力・学習状況調査」では1教科に際する調査のすべてで全国の平均正答率を大幅に上回りました。
算数	694(+2.4)	66.6	67.9	全国95年度の調査結果と比較、すべての教科で全国の平均正答率を上回っており、本市の学力が顕著的に高いことがわかります。

**さいたま市の学力はなぜ高い?**

全国立小・中・中等教育、特別支援学校の児童生徒を対象とした当市独自の「さいたま市学力診断調査」を年1回実施し、教育現場の授業や学習状況の改善などに役立てています。

年に1回、全ての小・中学校教員の授業を授業観覧の機会が創出し、授業力向上のための指導や勉強を行っています。

**市民独自の学習**

全国立小・中・中等教育、特別支援学校の児童生徒を対象とした当市独自の「さいたま市学力診断調査」を年1回実施し、教育現場の授業や学習状況の改善などに役立てています。

**授業力向上の**

年間1回、全ての小・中学校教員の授業を授業観覧の機会が創出し、授業力向上のための指導や勉強を行っています。

**学習能力の育成**

知識・技能や思考力、表現力、主体的に学ぶ力などの育成を重視しています。

**学校が楽しい～のびのび育つ子どもたち～**

「主体的な学習姿勢」に資する質問紙調査の「将来に就く希望する職業」(自覚職業)などでは、小・中学校ともに特定の職業の割合が全国を大きく上回っており、本市の児童生徒の自己肯定感の高さがうかがえます。

調査項目	さいたま市	全国	大都市
6年生 国語	89.9(+8.7)	81.2	81.5
6年生 算数	85.8(+11.7)	74.1	74.7

※1 1000人以上の児童生徒が参加した学校を調査対象とする。

※2 調査対象は、全国立小・中・中等教育、特別支援学校の児童生徒を対象とした当市独自の「さいたま市学力診断調査」を年1回実施し、教育現場の授業や学習状況の改善などに役立てています。

---

**「日本の英語力」**

「グローバル・スタディ」がスゴい!

平成30年度に実施された「英語教育実態調査(文部科学省)の結果、国の目標である50%を大きく上回り日本一に「CEFRのA1レベル」(中学校卒業段階での到達点)に達した3年生の割合はなんと75.5%、全国平均より約30ポイント高い結果になりました。

さらに実施した本市独自の英語教育「グローバル・スタディ」の実施

▶ 小学校5年生で英語力測定 (GETE) 及び英検 (EFL) を実施

▶ 身に付けた英語を評価する様々なイベントの実施

**「学校プログラミング教育」がスゴい!**

株式会社ベネッセエデュケーションと共同開発した「プログラミング教育」を活用した「学校プログラミング教育」が、全国的に普及し、多くの学校で実施されています。

---

**「学校給食がスゴい」**

一流シェフの手づくり給食!

市内のレストランやホテルなどで活躍中の「自給方式」による学校給食(形美給食)を実施、各学校で「自給方式」に合わせた給食メニュー、子供の行動観察、児童生活(食生活)の改善などに取り組んでいます。

**「大宮国際中等教育学校」がスゴい!**

6年間を通して「生涯にわたって自ら学び続ける力」や「自分の力で考え、新しい価値を生み出す力」など、国際的な視野に立つて多様な理解力を伸ばす「国際教育」を展開しています。また、国際(グローバル)による教育の取り組みです。

【施設】

1-330-0056 埼玉県さいたま市大宮区 大宮 4-96  
TEL:048-652-4800 FAX:048-652-4700  
E-mail: info@27shiba.city.saitama.ed.jp

29

53

## さいたま市立大宮国際中等教育学校について（1）概要

- 6年間を通して「生涯にわたって自ら学び続ける力」や「自分の頭で考え抜き、新しい価値を生み出す力」など、国際的な視野に立って多様性を理解して探求し続ける「真の学力」を育むカリキュラムを展開。
- 国際バカロレアによる教育プログラム（MYP、DP）の導入準備を進める。

※国際バカロレアとは：国際バカロレア機構（本部ジュネーブ）が提供する国際的な教育プログラム。世界の複雑さを理解して、そのことに対処できる生徒を育成し、生徒に対し、未来へ責任ある行動をとるための態度とスキルを身に付けさせるとともに、国際的に通用する大学入学資格（国際バカロレア資格）を与え、大学進学へのルートを確保することを目的として設置された。

※ MYPとは：ミドル・イヤーズ・プログラム。1歳～16歳までを対象とし、青少年に、これまでの学習と社会のつながりを学ばせるプログラム。知識を統合された総合的なものとして示し、生徒がより広く、より複雑なグローバルな課題に対する認識を高めることが期待されている。

※ DPとは：ダイアローグ・プログラム。6歳～19歳までを対象とし、所定のカリキュラムを2年間履修し、最終試験を経て所定の成績を収めると、国際的に認められる大学入学資格（国際バカロレア資格）が取得可能なプログラム。「日本語DP」の対象科目等を除き、英語、フランス語又はスペイン語で実施される。





## さいたま市立大宮国際中等教育学校について（3）学びの特徴

“大宮国際中等教育学校では、いろいろな学びの時間が用意されていて、自分で考えた「なぜ？」から、学びがどんどん広がり深まっていく「しかけ」をつくっています。自分で考えた課題を探究していくことで、いろいろな教科のつながりや課題の重に隠された背景を見つけて出したり、新たなアイデアを自ら発見したりして、学びの面白さを実体験することでしょう。そこでの学びの主役は「あなた」です。友達と一緒にグループ活動を行ったり、タブレットPCを使ったり、学校内外の先生方に教えてもらったりしながら、さらに深い学びを再現していきます。発表は日本語や英語を使って行います。そして、探究する力、協働する力、表現する力などを育み、国際的に活躍するための「真の学力」を身に付けていきます。”

### LOT\*

**\*Learner Directed Time** の英文字

土曜日の隔週で行われる自分で自分の学習をプロジェクトする時間です。大学や研究機関、芸術会や運動者協会などの外部団体からテーマの方向性や専門的な内容についてアドバイスを受けたり、3G Projectでの内容をまとめ、他校生徒や保護者、地域の方々への発表を行ったりします。必要性に応じて自分で必要なだけの時間をかけ、自分の知識を豊かにすることができます。

### 3G Project\*

**\*3G: Gift・Growth・Global**

身近な問題から世界的な問題を題材とした課題の解決に向けて取り組めます。日本語(英語)で考えをまとめ、互いにフィードバックし、協働で課題解決を見つける力を磨いていきます。そして、主体的に学び続ける姿勢やチームで課題解決に向かえる素養を得られます。

### All English

毎日、朝の時間から生徒・教職員すべての人が英語で様々な活動に取り組めます。フィードバック、日記、外国人への手紙など、英語で自分を表現する力を向上させます。

### English Inquiry

中学1年～4年まで週2時間、英語ネイティブ教師によるイマーシブ学習を行います。各教科で学習した内容をお互いに関連付け英語で学ぶことで、深い知識を獲得するだけでなく、異文化への世界観を拓くことができます。

### 各教科

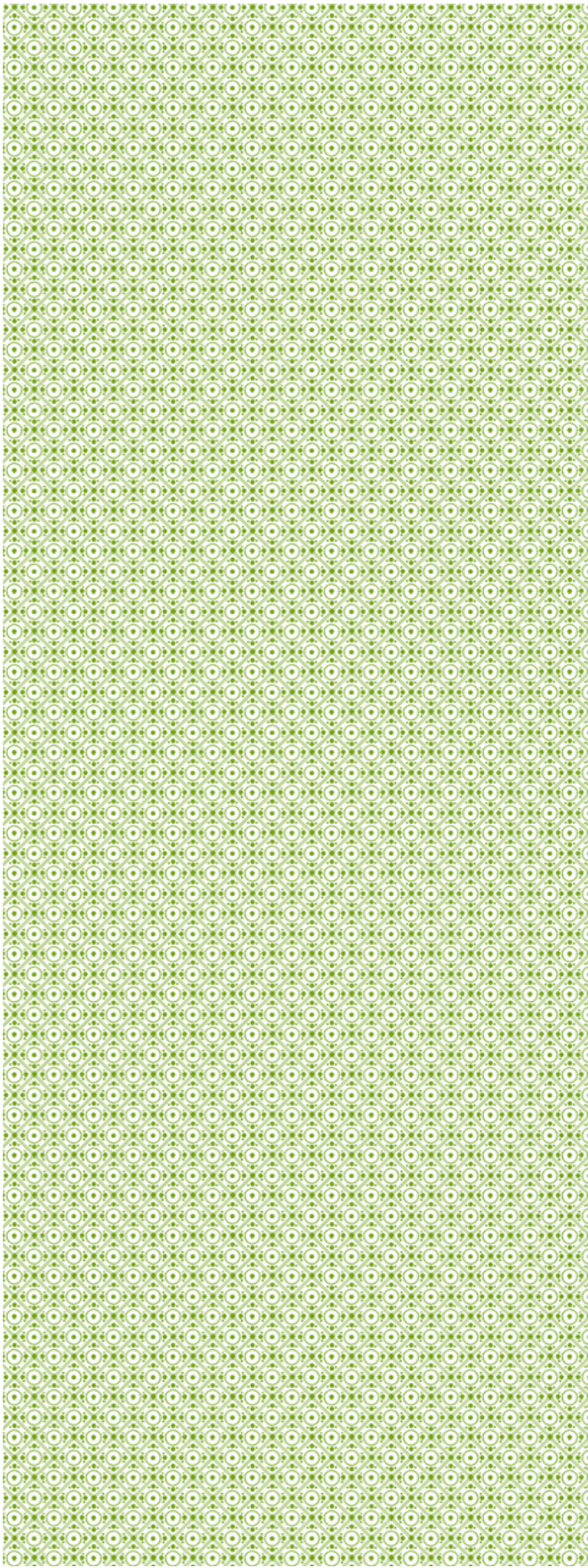
学びは1つの活動された問いからスタートします。そこから学びの広がりが深まっています。物事の本質や背景に迫る学びは興味・関心を高めるだけでなく、各教科をつないで学びへと変化していきます。



## さいたま市立大宮国際中等教育学校について（４）SDGsテーマへの取り組み

- 授業枠の中で直接SDGsをテーマとしてはいないが、土曜日の隔週午前中に、生徒が自分たちで学習内容を決めて展開している課外活動の中で、芝浦工業大学とのワークショップを展開。
- さいたま市のSDGsを考えるワークショップを行い、SDGsのアイコンについて英語で議論し、ポスターにまとめた。





4. 地域×未来×イノベーションの学びの場：  
学校法人電子学園 情報経営イノベーション専門職大学

---

## 調査対象



中村 伊知哉 氏  
(情報経営イノベーション専門職大学 学長)

京都大学経済学部卒業。  
慶応義塾大学で博士号取得 (政策・メディア)。  
1984年、ロックハート少年ナイフのディレクターを経て旧郵政省入省。  
1998年、MITメディアラボ客員教授。  
2002年、スタンフォード日本センター研究所長。  
2006年から慶応義塾大学院教授。  
2020年4月 情報経営イノベーション専門職大学学長に就任予定。

## 情報経営イノベーション専門職大学とは

20年4月に墨田区に開学する専門職大学。社会問題を解決するサービスや、世の中のニーズを先取りしたビジネスを担う、世の中にイノベーションを起こしていく人材の育成を目指している。



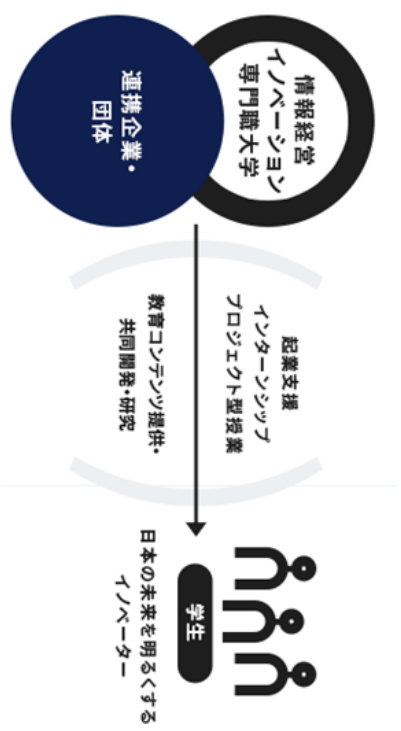
ICTが欠かせない時代になるからこそ、ICTの知識をベースに、  
既成概念にとらわれない柔軟な発想で、  
農業や観光、医療、工業などあらゆる産業の課題を解決する。  
そして、世の中にまだない幸せをつくっていく。

## 専門職大学とは

- 学校教育法の一部改正により55年ぶりに新設された新しいタイプの大学／短期大学。専門とする職業分野の高度な実践力と、それを他分野の知識等と結びつけて新たなモノやサービスを生み出す豊かな創造力を育てることを目的とする。
- テクノロジーの急速な進化など、産業構造が急激に変わっていく中、優れた「専門技能」と高度な「実践力」、そして新たなモノやサービスを創り出せる「創造力」を有する人材の育成強化が急務となっているが、既存の大学ではその要望に応えきれない状況の中、質の高い実践的な職業教育を行う新たな高等教育機関として制度化された。
- 既存の大学との大きな違いは次の3つとなっている。
  1. インターネットを600時間以上行うことが、卒業条件になっていること。
  2. 授業が原則すべて40名以下で行われること。
  3. 実務家専任教員が4割以上を占めることが義務付けられていること。なおかつその半分は、大学等での教員歴、修士以上の学位、企業等での研究上の業績のいずれかを持つ人材でなくてはならないこと。
- 認可されたものは、18年度 3校、19年度 7校となっている。

## 情報経営イノベーション専門職大学の特徴

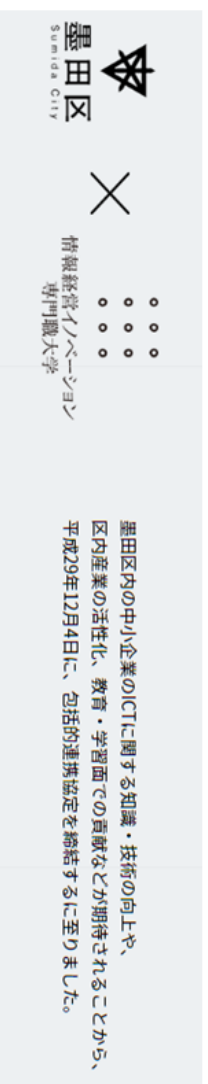
- 情報経営イノベーション学部 情報経営イノベーション学科を展開。経済経営系の分野50%、情報系30%、グローバル系20%で構成される文理融合型大学。SEやクリエイターという専門職を育てるのではなく、ICT時代に、グローバルな現場でリーダーとなる人材を育てる。
- 専任教員には、スーパーコンピュータ「京」を開発した富士通の研究者など、素晴らしい実績を持つ実務家教員が全体の80%以上を占めており、トヨタ社長の夏野剛氏ほか、100名を超える多岐にわたる分野の専門家が「客員教員」に名を連ねる。
- NTT、ソフトバンク、パナソニック、SAP、AU、シスコシステム、TBS、吉本興業等、約30社が協力。
- 学生には全員、半年間のインターン及び、卒業までの起業のための事業計画作成が義務付けられている。※起業の職種としては、地域課題を解決する社会的起業、コミュニティビジネスをイメージ。現実的なプランには、資金援助も行われる。将来的には事業の利益による授業料の無償化も想定。
- 4年後には英語でデベートできるようになることを目標とする。
- 本当の学びを求めて優秀な学生が殺到し、定員を上回る応募があった。





## 大学と墨田区との連携

キャンパスがある墨田区と連携し、行政や地元企業、金融機関で新たなサービスや商品開発も実施。地域や企業が抱える課題に対して、学生がICTを手段として解決していくケーススタディやフィールドワークを展開。さらに区内の商店街の活性化なども行い、墨田区のよりよい街づくりにも貢献。



### 主な連携プロジェクト

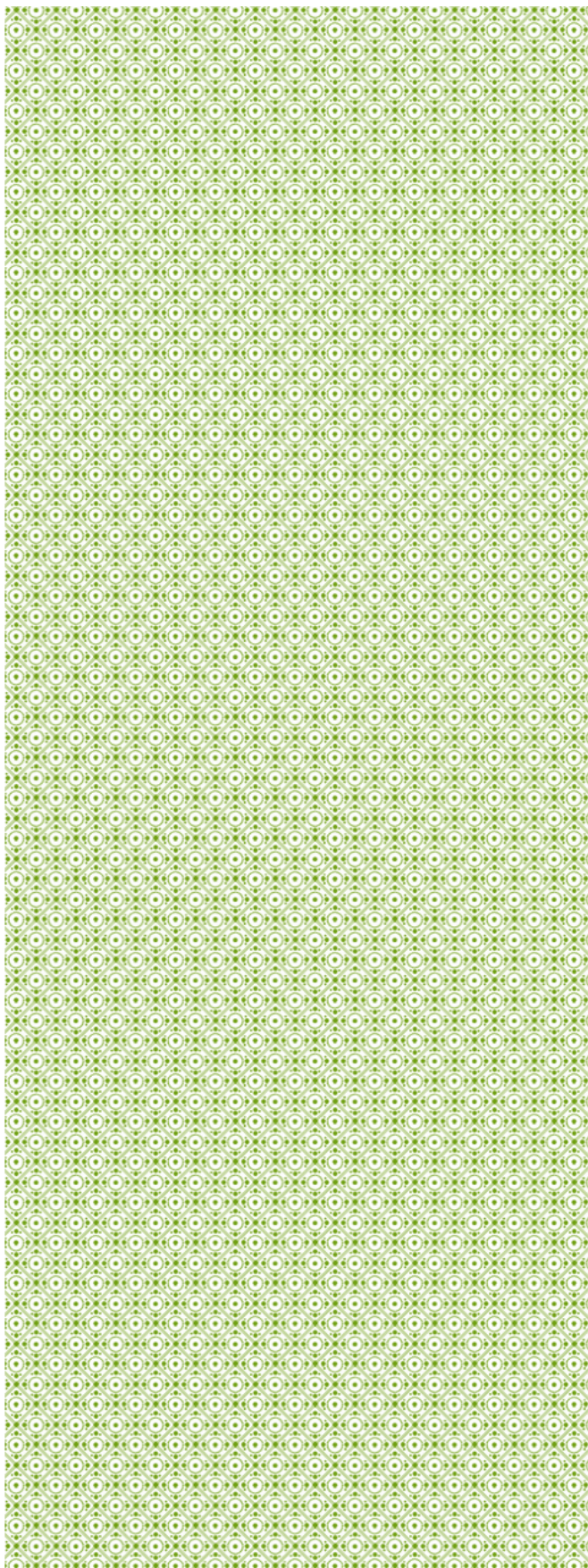


墨田区にはこれまで、大学が一つもなかったため、市の体育施設を、同校の体育館として貸与するなど、積極的な協力姿勢を取っている。

中村 伊知哉さんの考える“地域×未来×イノベーションの学びの場”とは

- 2030年、40年には、そもそも学校が必要なのかという状況になっていると考えており、そのため学校の枠を超えた新しいカリキュラムが必要になってくると考えている。
- 授業はほとんどがオンラインでできるようになるため、この場所に来ないといけないことだけをカリキュラムにしようと考えている。そのため「ビジネスモデルをつくる」というところを強みにしている。
- またバーチャルの学びとリアルな場の強さ、が両方必要になってくると思われる。
- **4年後にはソーシヤルな学科をつくり、それを中心とした展開を図ろうと考えている。**これを社会学ではなく、実際にソーシヤルビジネスやコミュニティビジネスを展開している人たちと作りたいと考えている。

## 5. まとめ



## まとめ：神戸市が目指すべきSDGS達成に向けた取り組み ～未来の神戸市を担う次世代育成の視点から～

- **フューチャー・デザインの展開**  
将来世代に持続可能な自然環境と人間社会を引き継いでいくための、未来に向けた政策づくりのプラットフォームであるフューチャー・デザインを展開する。
- **「グローバル教育3.0」への取り組み**  
「グローバル教育3.0」＝“革新的な技術を「使う」だけでなく、「作る」、あるいは「活かす」ことで、(SDGSを推進する) 社会に貢献する人の育成”へ取り組みむことで、グローバルな視野のある市民を増やし、市政にそのような市民からの声が届き、よい影響を与える形をつくる。
- **SDGS未来都市として“まちづくりと教育”を一体化させた取り組み**  
教育の拡充をまちづくり施策の柱の一つとして位置づけることで、地域間競争が激しくなる中で、シナジー効果の発揮を図る。
- **地域×未来×イノベーションの学びの場の創出**  
地域課題を解決する実践的な知のプラットフォーム、将来的なイノベーションに対応できるような新しい未来の学校の設置（展開）を検討する。